

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【207】
2. 日時：令和4年6月17日 13時30分～17時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、藤川安全審査官

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電原土木） 他7名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他13名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|--|
| 0:00:06 | 規制庁のハツリです。 |
| 0:00:08 | それでは、ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。 |
| 0:00:14 | 本日の議題は、地盤の支持性能に関わる基本法、 |
| 0:00:19 | すいません言い直します。 |
| 0:00:22 | 本日の議題は地盤の新制度についてに関わる内の |
| 0:00:28 | 地盤材料の物性値の設定についてになりますますがよろしいでしょうか。どうぞ。 |
| 0:00:34 | 中国電力鹿島です。はい、おっしゃる通りです。はい。 |
| 0:00:38 | 規制庁の服部です。それではまず資料の確認をお願いしますどうぞ。 |
| 0:00:45 | はい中国電力の伊佐です。では市の確認をさせていただきます。資料提出日は 6 月 14 日、資料番号年数に他 056 回 04。 |
| 0:00:57 | 指摘事項に対する回答整理表。 |
| 0:00:59 | そして資料番号N-S2 報 02301 回 06、地盤の恣意性についてです。資料は以上となります。 |
| 0:01:09 | 規制庁の服部です。一つ確認ですけれども、 |
| 0:01:13 | N-S. 2001-03。 |
| 0:01:17 | と、 |
| 0:01:18 | その比嘉括弧費については今回の資料の中に入っていないということですのでよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:01:25 | はい。こちら 7 億円の伊佐です。そちらにつきましては 10 月 20 日、以前ご提出したものがちょっとまだ交渉にかかってないというところで |
| 0:01:35 | 今回ご説明させていただく資料としましては先ほどの二つとなります。 |
| 0:01:40 | 規制庁の服部です。はい。わかりました。では |
| 0:01:45 | 回答整理表と、補足説明資料の 2 点が、本日の資料ということで確認をしました。 |
| 0:01:52 | あと 1 点こちらから要請が要望がありますけれども、この資料について番号を振っていただいて、今後資料名としては番号名で読んでいただくと、 |
| 0:02:04 | そちらの方の手間ももう効率になりますしこちらもちょうとわかりやすいので、それに対応していただければ、 |
| 0:02:15 | と思いますが、いかがでしょうかどうぞ。はい。中国電力の伊佐です。はい、承知いたしました例えば回答整理表につきましては一番という資料名で補足説明書については 2 番、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:02:27 | そんな格好でご説明させていただいてよろしいでしょうか。 |
| 0:02:29 | 規制庁のハットリですはい。 |
| 0:02:32 | 最初の資料①番さ、次の資料②番とか、そういう形で、番号付けていただければと思いますがよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:02:40 | はい。16年度カネダですはい。そういった格好でご説明させていただきます。 |
| 0:02:45 | ではすみません。 |
| 0:02:47 | ではこの回答整理表につきましては一番、 |
| 0:02:50 | 補足説明書につきましては、2番、そういった括弧で |
| 0:02:55 | 今日のヒアリングご説明させていただこうと思います。 |
| 0:02:59 | 規制庁の服部ですはい資料の確認ができました。それではまず本日の進め方を簡単に説明した後、引き続き説明に入ってください。どうぞ。 |
| 0:03:10 | はい。中国電力の鹿島です。本日はこれまでのヒアリングでいただいたご指摘を踏まえて、資料の方充実化させてございますそれで一文等の形式で、 |
| 0:03:20 | ご説明できるように準備しているのと加えまして、 |
| 0:03:24 | 改良地盤につきましてはこれまで逆T擁壁の基礎の部分ですね、こちらについてのご説明までにとどまっておりましたが、今回新たに新設と既設の |
| 0:03:34 | 改良地盤を追加でデータをお示しさせていただくとともに、 |
| 0:03:39 | 設置許可で自主対策として、約束させていただいております改良地盤の物性値についてもですね、整理しておりますのでまずは新たな説明となる、こちらの新規の物性値のですね、 |
| 0:03:50 | 試験結果並びに解析を物性値についてご説明。こちらおそらく30分ないし40分ぐらいだと思います。をさせていただいて、ご確認質疑させていただいた後にですね、前回までの |
| 0:04:02 | 修正事項に対する一文イトウの改革等という進め方でさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。 |
| 0:04:09 | 規制庁のハットリです承知いたしました。それでは説明を始めてください。どうぞ。 |
| 0:04:16 | 中国電力の荘司です。それでは資料No. 2 補足説明資料を用いまして、改良地盤におけます解析用物性値の設定についてご説明させていただきます。 |
| 0:04:26 | 補足説明資料通しのページ 252 ページをお願いいたします。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:04:32 | 参考資料 13、改良地盤における補足といたしまして、各改良地盤におきます解析用物性時の設定をお示してございます。 |
| 0:04:41 | こちらの参考資料 13 につきましては構成全体を見直してございますので、元のページに目次をお付けしてございます。 |
| 0:04:50 | なお 1 ポツから 3 ポツ、4 点、4 ポツ 5 の改良地盤、①から③、 |
| 0:04:56 | 4 ポツ 7 の置換コンクリート、5 ポツの品質確認方針につきましては前回ヒアリングまでで、までにご説明しておりますので、 |
| 0:05:05 | こちらの適正化箇所につきましてはコメント回答で、後程ご説明させていただきます。 |
| 0:05:12 | そして 4 ポツ 2 から 4 ポツ 4 及び 4 ポツ 6 におきます改良地盤におきましてこちら通しでご説明させていただきご説明させていただきます。 |
| 0:05:24 | それで 253 ページをお願いいたします。 |
| 0:05:29 | 本参考資料におけます概要を 1 ポツにお示してございます。こちらにおけます変更点といたしましては、253 ページ上から 4 パラグラフ目。 |
| 0:05:39 | 改良地盤のうち、ゆ 2022 年 3 月 31 日時点におきまして施行済みのものを、既設改良地盤、 |
| 0:05:48 | といたしまして施工後の現地試験及び室内試験の試験結果を踏まえて解析を物性値を設定してございます。 |
| 0:05:55 | また、5 パラグラフ、5 パラグラフ目ですけれども、2022 年 3 月 31 日時点におきまして施行中もしくは計画中のものにつきましては新設の改良地盤と、 |
| 0:06:06 | いたしまして室内配合試験において作成した供試体の、 |
| 0:06:10 | 試験結果を踏まえて解析を物性値設定してございます。 |
| 0:06:13 | 255 ページをお願いいたします。 |
| 0:06:18 | 2 ポツとして説明内容の概要をお示しております。図、こちらの説明内容につきましては前回と同じですけれども、確認事項を踏まえまして記載の適正化を行ってございますので、ご説明いたします。 |
| 0:06:30 | 255 ページの表に、 |
| 0:06:33 | 添 1-1 に地盤改良工法の種類等適用地盤効果について一覧でお示ししております、257 ページ、258 ページにおきまして、各、 |
| 0:06:44 | 地盤改良の施工方法をお示してございます。 |
| 0:06:48 | こちらにおいて工法の名称が、それぞれ対応してございませんでしたので適正化してございます。 |
| 0:06:54 | 具体的に申し上げますと、257 ページの表、上の行、高圧噴射攪拌工法についてですけれども、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:07:02 | 255 ページの方では深層混合処理工法と記載してございましたので、 |
| 0:07:08 | 257 ページの方に、深層混合処理工法括弧高圧噴射攪拌工法と記載を適正化しております。 |
| 0:07:17 | 同様の適正化を 258 ページでも、実施、 |
| 0:07:21 | 適正化しております、 |
| 0:07:23 | 下の行流動化処理工法につきましては前回まで吐出安定所里道と記載してございましたが、当該工事が準拠しております流動化処理どう利用技術マニュアルに基づきまして正式な広報面に適正化をしております。 |
| 0:07:38 | 259 ページをお願いいたします。 |
| 0:07:44 | 3 ポツとして各施設における改良地盤の概要を示しております。こちらの変更点といたしましては、図 3-1 の中央部分、赤い 8 でお示しておりますが、改良地盤⑧にKK断面として断面をつけてお示しております、 |
| 0:07:59 | こちらの断面を、264 ページに断面図つけてお示しております。 |
| 0:08:07 | 265 ページをお願いいたします。 |
| 0:08:15 | こちらに改良地盤の概要を一覧でお示しております。こちらにつきましては、冒頭でご説明しましたが、改良地盤⑤、⑦⑧の記載追加に伴いまして修正をしております。 |
| 0:08:29 | 266 ページをお願いいたします。 |
| 0:08:36 | 4 ポツ、改良地盤の解析用物性値の設定といたしまして、 |
| 0:08:41 | お示しておりますが前回①から③のみご説明させていただきまして、今回④から⑧をご説明いたします。 |
| 0:08:49 | 267 ページをお願いいたします。 |
| 0:08:55 | 267 ページ 4 ポツ 2 から改良地盤 04 の解析用物性値の設定をお示してございます。解析を失礼いたしました。改良地盤 04。 |
| 0:09:06 | としましては、図 4.2-1 及び 4.2-2 にお示しておりますが、12 号機た防波壁の一部の佐伯層におきまして、 |
| 0:09:16 | 薬液注入工法により、杭の変形抑制及びミナミ透水性の補助を目的として地盤改良しております。 |
| 0:09:24 | こちらの平面図及び断面図を前回からの確認事項を踏まえましてついで、各改良地盤において追加しております。 |
| 0:09:32 | 268 ページをお願いいたします。 |
| 0:09:36 | 268 ページの上側に解析を物性値設定フローをお示しております。 |
| 0:09:41 | まず目標物性値の設定をし、しましてその後、室内試験、試験結果を基に解析を物性値の設定というフローになっております。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:09:51 | こちらのフローにつきましても、各改良地盤において確認事項を踏まえまして追加しております。 |
| 0:09:59 | なお、268 ページ下側に試験方法を一覧でお示しております。 |
| 0:10:04 | 169 ページお願いいたします。 |
| 0:10:09 | (2)の現位置試験及び試料採取位置として、平面図でお示しております。 |
| 0:10:15 | 試料採取位置につきましては既設構造物の配置等踏まえまして、概ね均等になるよう配置をしております。 |
| 0:10:23 | 270 ページをお願いいたします。 |
| 0:10:27 | 4 ポツ 2 ポツ 2 の解析用物性値の設定方法として、前回ヒアリングまでの確認事項を踏まえまして算定式を拡充してございます。 |
| 0:10:37 | (2)の動せん断性、ケースGMの式にを追加しております。 |
| 0:10:43 | また、(3)動的変形特性の式 5 を追加してございまして、こちらの基準ひずみが 0 は、 |
| 0:10:50 | 田植え明治MAから求めることができる定数であるということを示してございます。 |
| 0:10:57 | 271 ページをお願いいたします。 |
| 0:11:03 | 271 ページの下、最後に 4 ポツ 2 ポツ 3 ということで解析用物性値の設定等を記載してございますが、試験結果がまだそろっておりませんので随時とさせていただきます、 |
| 0:11:16 | 次回以降のヒアリングでご説明させていただきます。 |
| 0:11:21 | 272 ページをお願いいたします。 |
| 0:11:25 | 272 ページから改良地盤 05 におけます解析用物性値の設定をお示しております。 |
| 0:11:31 | 解析、改良地盤⑤につきましては、図 4.3-1、4.3-2 にお示しておりますが、 |
| 0:11:40 | 12 号機他の防波壁背面におきまして、ミナミ透水性の保持を目的として、 |
| 0:11:49 | 高圧噴射攪拌工法により、地盤改良をしております。こちらの改良地盤につきましては既設の改良地盤でございまして、現地試験及び 3 軸圧縮試験、繰り返し残軸試験等の室内試験により解析物性値を設定いたします。 |
| 0:12:05 | 273 ページに、改良地盤 04 と同様のフローをお付けしております。 |
| 0:12:10 | 274 ページをお願いいたします。 |
| 0:12:14 | 4 ポツ 3 ポツ 1-1 としての(1)として、目標物性値の設定を、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:12:21 | お示しておらず、ございます。 |
| 0:12:24 | 表 4.3. 1 に、目標物性値を一覧でお示してございますが、上から 2 行目の密度につきましては、改良前の目黒指導は十分に締め方見られており、 |
| 0:12:35 | 間隙比が小さいこと改良後の体積変化がないよう施工することから、改良前の埋め戻し部の物性値を設定しております。 |
| 0:12:45 | 上から 4 行目の動せん断弾性係数GMAにつきましては、当該地盤改良の目的が難透水性の保持でございまして、 |
| 0:12:54 | 改良前の埋め戻しと相当のせん断波速度Vsを用いて、GMO算出し、そのGMを用いてGMO算定してございます。 |
| 0:13:04 | 下から 3 行目、減衰定数の上限値HMACCSにつきましては、密度と同様改良前の埋め戻しどの値を設定してございます。 |
| 0:13:15 | 下から 2 行目の粘着力c'につきましては、改良共同の給油 2500kNエパ。 |
| 0:13:23 | メーター2 乗である方針であることから、C=2 分の給油により算出し設定しております。 |
| 0:13:30 | 最後の行内部摩擦角φ'につきましては、後半、こちらの改良地盤が高圧噴射攪拌工法でございまして、資材の性質を有すると考えられることから、Y=0 と設定してございます。 |
| 0:13:44 | 276 ページお願いいたします。 |
| 0:13:50 | こちらに平面図をおつけて現地試験及び試料採取位置をお示しておりまして、改良地盤 04 と同様、概ね均等となるように配置しております。 |
| 0:14:01 | 277 ページをお願いいたします。 |
| 0:14:05 | 277 ページに各試料採集地における、試験実施項目及び数量をお示しております。 |
| 0:14:12 | 3 軸圧縮試験及び繰返し 3 軸試験の試料を採取したボーリングコア及び試験に使用した試料の採取位置を、 |
| 0:14:20 | 次のページ以降に 178 ページに 179 ページにボーリングコアをお示しておりまして、試料採取に当たりましては、埋戻しどの岩砕及び、 |
| 0:14:30 | 改良体を含む位置を選定しております。 |
| 0:14:34 | 280 ページをお願いいたします。 |
| 0:14:39 | 解析用物性時の設定方法としてお示しておりますが、目標物性値及び試験結果を踏まえた解析用物性時の設定方法につきましては、改良地盤 04 と同様としてございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:14:51 | ただしGMAの算定に用いる σ_v' につきましてはこちらの図の通りとしております。 |
| 0:15:00 | 281 ページをお願いいたします。 |
| 0:15:04 | 281 ページのポツ試験結果から 284 ページにかけまして、密度試験、PS検層、繰り返し 3 軸試験、3 軸圧縮試験の結果をそれぞれお示しております。 |
| 0:15:20 | 285 ページをお願いいたします。 |
| 0:15:27 | bポツ解析用物性値の設定としてそれぞれの解析結果を踏まえまして設定した解析用物性値をお示してございます。 |
| 0:15:36 | 密度及び間隙比、間隙率につきましては、室内試験で確認された密度 |
| 0:15:42 | が、改良前の埋め戻しの密度と同等であることから、目標物性値の値を採用しております。 |
| 0:15:49 | また間隙率Nについて室内試験における間、室内試験における間隙率よりも大きな目標物性値の間隙率を採用しております。 |
| 0:16:00 | 動せん断弾性係数GMAにつきましては、PS件数による試験値と目標物性値の、 |
| 0:16:07 | 比較しまして、改良地盤⑤がミナミ透水性の補助を目的とした地盤改良でありますことから、防犯、動せん断弾性係数が、 |
| 0:16:17 | 小さい方が、耐震評価における動圧の評価が保守的になると考えられることから、目標物性値を解析を物性値に設定しております。 |
| 0:16:27 | 286 ページをお願いいたします。 |
| 0:16:30 | こちらに動的変成特性を、としてお示してございますけれども、解析、改良地盤、⑤につきましては、繰り返し 3 軸試験並びに目標値の |
| 0:16:42 | 精緻から設定した時はG0 のひずみ依存特性の比較をお示してしております。 |
| 0:16:48 | 試験結果は目標物性値と同等でありますことから、目標物性値から設定した磁場G0 のひずみ依存特性及び、減衰定数のひずみ特性を解析を物性値として設定しております。 |
| 0:17:01 | 287 ページをお願いいたします。 |
| 0:17:06 | こちらに粘着力cと内部摩擦角ファインの比較を示してございます。試験値は、鉛直力C及び内部摩擦角ともに目標物性値を上回ることから、 |
| 0:17:16 | 目標物性値を解析を物性値として設定しております。 |
| 0:17:21 | 288 ページをお願いいたします。 |
| 0:17:25 | (イ)として今ほどご説明した解析用物性値の設定、の値と根拠を一覧でお示してございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:17:33 | こちらの表 4.3. 3-7 におきまして記載の誤りがございましたので訂正させていただきます。 |
| 0:17:41 | 上から 7 行目原水浄水の上限值、愛知MACCSのところでございますが、室内試験における磁場G0 は、目標値から設定したGバーゼルのひずみ依存特性の曲線を上回ることから、 |
| 0:17:55 | と記載しておりますが正しくは、ひずみ依存特性の曲線と同等であることからの誤りでございますので、訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。 |
| 0:18:07 | 289 ページをお願いいたします。 |
| 0:18:13 | 289 ページから改良地盤⑥につきましての、解析用物性値の設定をお示しております。 |
| 0:18:21 | 解析、改良地盤⑥につきましては、3 号機他の防波壁の一部におきまして、ケーソン及び領域の指示、 |
| 0:18:29 | また難透水性の保持を目的として、 |
| 0:18:32 | 高圧噴射攪拌工法で改良自分、地盤改良しております。こちらにつきましても既設の改良地盤であることから、現位置で試料採取し 3 軸圧縮試験、 |
| 0:18:44 | 及び繰り返し 3 軸試験により解析物性値を設定してございます。 |
| 0:18:49 | 290 ページをお願いいたします。 |
| 0:18:54 | こちらにつきましても既設の改良地盤ですので、改良地盤⑥、⑤と同様のフローをお付けしてございます。 |
| 0:19:03 | 292 ページをお願いいたします。 |
| 0:19:10 | こっち、4 ポツ藪さんに解析を物性値の設定と記載しておりますが、こちらにつきましても、試験結果がそろっておりませんので随時とさせていただきます。次回以降ご説明いたします。 |
| 0:19:23 | 293 ページをお願いいたします。 |
| 0:19:27 | こちらに改良地盤①から③の御説明を記載しておりますがこちらにつきましては、後程コメント回答でご説明させていただきます。 |
| 0:19:36 | 316 ページをお願いいたします。 |
| 0:19:47 | 316 ページから、改良地盤⑦として、御説明を記載しております。改良地盤⑦は、2 号取水槽周辺におきまして、構造物の変形抑制を目的として高圧噴射攪拌工法により地盤改良してございます。 |
| 0:20:03 | こちらにつきましては新設の改良地盤でございまして、室内配合試験における 3 軸圧縮試験、繰り返し 3 軸試験等により解析部用物性値を設定しております。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:20:14 | 317 ページをお願いいたします。 |
| 0:20:20 | こちら、 |
| 0:20:23 | 317 ページの真ん中にフローをお付けしてございますが、こちらは新設の改良地盤ですので、室内配合試験により解析用物性値を設定します。 |
| 0:20:33 | 318 ページお願いします。 |
| 0:20:37 | 318 ページに室内配合試験のフローをお付けしております。 |
| 0:20:43 | 319 ページお願いします。 |
| 0:20:48 | 319 ページに改良地盤⑦における目標物性値を設定し、お示してございます。密度、 |
| 0:20:56 | 間隙率、 |
| 0:20:59 | 基準拘束圧、ポアソン比減衰定数、粘着力内部摩擦角につきましては、改良地盤 05 と同様の設定をしてございまして、GMAにつきましては、変形抑制のため、改良地盤である。 |
| 0:21:13 | 変形抑制を目的とした改良地盤であるため、CM級以上の硬質地盤である解放基盤表面相当のせん断波速度 V_s を設定し、 |
| 0:21:23 | GMを求め、最終的にGMAを算出しております。 |
| 0:21:29 | (2)に資料最終としてお示してございますが、島根原子力発電所の埋戻し度は、敷地造成において発生した岩砕を主体とする材料でございまして、 |
| 0:21:41 | 敷地全体において度概ね同一の性状となることから、取水槽の近傍の埋戻し動を採取し、新設改良地盤における室内配合試験を実施いたします。 |
| 0:21:54 | 321 ページをお願いいたします。 |
| 0:22:01 | 321 ページから既往ボーリングの最終位置と、埋戻し動の粒径加積曲線を示してございます。 |
| 0:22:09 | 322 ページをお願いいたします。 |
| 0:22:13 | 322 ページに改良地盤⑦の室内配合試験における供試体作成のため、取水槽近傍において採取した埋戻しの曲線を、 |
| 0:22:25 | お示してございますが、 |
| 0:22:29 | 4.6. 1-3 に示すセキをボーリング試料における埋戻しどの化石曲線と同等であることから、取水槽近傍において採取した上モード指導は代表性を有すると判断してございます。 |
| 0:22:41 | 324 ページをお願いいたします。 |
| 0:22:44 | こちらにキョウシタイ作成状況として写真を 2 枚おつけしております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:22:50 | 326 ページをお願いいたします。 |
| 0:22:53 | 目標物性値及び 1 回、試験結果を踏まえた解析用物性値の設定方法の詳細につきましては、外字あまり案と同様といたしまして、JMAの算定に用いる σ_v を図にお示しております。 |
| 0:23:10 | 326 ページのなお書き以降ポツが三つございますが、二つ目に受けまして記載の誤りがございますので訂正させていただきます。 |
| 0:23:18 | 二つ目のポツの 1 行目弱 46012015 とございますが正しくは、946011987 の誤りでしたので訂正させていただきます。 |
| 0:23:30 | 328 ページをお願いいたします。 |
| 0:23:35 | 328 ページから、各試験結果のを、332 ページまでお示しております。 |
| 0:23:45 | 333 ページお願いします。 |
| 0:23:49 | 室内配合試験の結果を踏まえまして解析用物性値の設定についてお示しております、 |
| 0:23:55 | 密度につきましては、 |
| 0:23:59 | 試験の値が目標物性値より小さい値となっておりますが、基準に従いまして協力を取り除いたことによる水間現象と判断し、目標物性値を設定しております。 |
| 0:24:11 | また間隙率につきましても、室内を試験における値が目標物性値より小さい。 |
| 0:24:17 | 値となっておりますが、より大きな目標物性値の値を設定しております。 |
| 0:24:23 | 同せん断弾性係数GMAIにつきましては、 |
| 0:24:27 | 導線せん断性係数が小さい方が保守的となると考えます。考えられることから、目標物性値を解析を物性値に設定しております。 |
| 0:24:38 | 303、13 ページをお願いいたします。 |
| 0:24:43 | こちら動的 3 軸試験の試験値が目標物性値から設定した磁場G0 のひずみを上回ることから、目標物性値から設定した磁場G0 へ設定しております。 |
| 0:24:56 | 334 ページをお願いします。 |
| 0:24:59 | 粘着力 c 及び内部摩擦角につきまして、目標物性値をこちらにつきましても目標物性値を上回ることから、室内試験における、 |
| 0:25:09 | せん断強度 t ÷ 目標物性値から算定されるせん断強度度を上回ることを確認しましたので、解析用物性値として、目標物性値を設定しております。 |
| 0:25:22 | 335 ページをお願いします。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:25:28 | こちらに、今ほどご説明した改良地盤⑦における解析用物性値を一覧でお示しております。 |
| 0:25:36 | 336 ページをお願いします。 |
| 0:25:40 | こちらに置換コンクリートの解析を物性値をお示しております。 |
| 0:25:45 | こちらにつきましては前回と説明内容同様でございますが、 |
| 0:25:49 | 先ほど申し上げましたが、改良地盤の平面位置図と断面図をおつけしております。 |
| 0:25:59 | 339 ページをお願いします。 |
| 0:26:04 | 4 ポツ 8 として改良地盤 08 をお示しております。改良地盤⑧は逆T擁壁西側におきまして、基礎地盤の滑り安全率、滑り安定性の向上、 |
| 0:26:14 | そして自主対策といたしまして、流動化処理工法により、地盤改良してございます。 |
| 0:26:21 | こちら既設の改良地盤でございまして、現地試験により解析を物性値をして設定しております。 |
| 0:26:28 | 340 ページをお願いします。 |
| 0:26:32 | こちらにフローをお示してございますが、 |
| 0:26:35 | こちらにつきましては現場に練りした、流動化処理等の一部を供試体として打設養生して試験を実施しております。 |
| 0:26:45 | 341 ページをお願いします。 |
| 0:26:49 | 4 ポツ 8 ポツ 1 として改良地盤⑧の契約及び役割をお示してございますがこちら、コメントNo. 100 の、 |
| 0:26:59 | コメント回答となりますので後程コメント回答の際にご説明いたします。 |
| 0:27:07 | 343 ページをお願いします。 |
| 0:27:11 | 343 ページから、 |
| 0:27:15 | 室内試験方法をお示してございますがこちらにつきましては、流動化処理工法が準拠しております流動化処理どう利用技術マニュアルに基づきまして実施しております。 |
| 0:27:28 | 346 ページをお願いします。 |
| 0:27:32 | 346 ページに現地試験位置をお示してございます。こちらにつきましては、PS検層を実施しておりまして、9、既設構造物の配置を踏まえまして、概ね均等隣を配置してございます。 |
| 0:27:45 | 347 ページをお願いします。 |
| 0:27:53 | 解析用物性値の設定方法につきましてはこれまでの解析を改良地盤と同様でございますが、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:28:01 | 3 時間縮試験の結果を踏まえ、改良地盤⑧は、線形材料とみなすことができるため、FLIPに入力する解析を物性値として、 |
| 0:28:11 | 弾性軽水を以下の式により算定いたします。 |
| 0:28:16 | 348 ページをお願いいたします。 |
| 0:28:20 | (1)の試験結果におきまして密度試験、PS検層 3 軸圧縮試験の結果をお示しております。352 ページをお願いいたします。 |
| 0:28:35 | 解析結果を踏まえまして、他、設定した解析用物性値をお示してございます。 |
| 0:28:41 | 水野炉につきましては、室内試験で確認された密度が改良前の埋め戻しの水より小さい値であることから、流動化所イド利用技術マニュアルに基づきまして、 |
| 0:28:53 | 粒径 40 ミリ以下を主材とし、 |
| 0:28:57 | 品質な、 |
| 0:28:58 | 共同発見減るための水セメント比に設定していることによる水の減少と判断いたしまして、 |
| 0:29:04 | 1.89 を採用してございます。 |
| 0:29:07 | また、間隙率Nにつきましては、下、改良前の埋め戻しの間隙率を同様であったことから、そのまま 0.45 を採用しております。 |
| 0:29:21 | な、 |
| 0:29:22 | 括弧Bの弾性係数Eにつきましては先ほどの式により算定してございます。 |
| 0:29:30 | 粘着力c及び内部摩擦角につきましては 3 軸圧縮試験に基づき、粘着力し内部摩擦角を設定しております。 |
| 0:29:41 | 353 ページに解析用物性値の一覧をお示しております。 |
| 0:29:47 | 354 ページ以降のポツとして品質確認方針をお示してございますがこちら説明内容は前回と同じでございまして、構成の変更若干、 |
| 0:29:59 | 行っておりますのでご説明いたします。 |
| 0:30:04 | 359 ページから、参考の 1 としまして、設置許可段階における逆T擁壁の解析用物性値をお示してございますけれども、 |
| 0:30:14 | 前回まで参考 1 と参考 2 をあわせてお示しておりましたが、 |
| 0:30:19 | 参考に改良地盤の発生応力範囲ということで別の章立てとしまして今回適正化してございます。 |
| 0:30:29 | 改良地盤における解析用物性値の設定についてはご説明以上になります。 |
| 0:30:38 | 規制庁の服部です。はい。それでは補足説明資料の②の中の、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:30:45 | 参考資料 13 番ですね。 |
| 0:30:47 | 13 ですね、これ、この全体について確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 0:30:58 | では私から 2 点ほどちょっと事実確認をさせてください。 |
| 0:31:03 | ちょっと聞き取れなかったんですけども、286 ページをお願いします。 |
| 0:31:11 | 地盤がやわらかいことから、やわらかい方が、 |
| 0:31:17 | 保守的なことカラー |
| 0:31:19 | 目標物性値を設定するという説明がことと、 |
| 0:31:25 | 伊勢宗の方にあったと思います。 |
| 0:31:30 | 286 ページを見る等、図 433-6 ワー |
| 0:31:37 | この目標物性値による宇治橋 0 の曲線が一試験長は |
| 0:31:43 | ているんですけども、 |
| 0:31:45 | もうこういう意味かどうかわからないんですが、一方で、333 ページの方の取水槽は下回ってるということで、 |
| 0:31:53 | 先ほど |
| 0:31:56 | 説明はちょっと私、聞き取れなかったところもあるんですけども、 |
| 0:31:59 | 保守的なことから 3、286 ページの方ですねどちらかというと、 |
| 0:32:04 | 保守的なことから目標設定時を用いるんだよという説明が、この |
| 0:32:12 | 地場G0 の関係。 |
| 0:32:17 | どうなってるのかなっていうのだけ確認させていただきたいと思いますが、 |
| 0:32:23 | 中国電力の藤村です。 |
| 0:32:25 | まず 286 ページの改良時は 05-5 号線についてなんですけれども、 |
| 0:32:31 | まず、改良地盤⑤の目的としまして、難透水性を確保することというふうに述べておりました、改良時は⑤につきましては必ずしも合成の保守性については必要。 |
| 0:32:43 | ないというふうに考えておりました、286 ページの方に同等物性値と同等であることから、地場G0 の曲線を現状のものに設定しましたというふうな記載としております。正しいんですけども、 |
| 0:32:58 | 今のGG0 と、がんの関係を記載しているので試験値より、曲線の方が少し上回るような曲線になってしまっているんですけども、これを初期剛性Gとせん断ひずみ γ の関係で考えますと、 |
| 0:33:14 | 至近値よりも、Gと岩盤の曲線のほうが下にきまして、剛性としては保守的な物性になっているというふうに確認しております。 |
| 0:33:25 | 一つ以上となります。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:33:29 | はい。わかりました。もう先ほどの書いていただくということにしますかね。ちょっと先ほどの説明だと、 |
| 0:33:40 | 何か保守的だっということ目標設定値ということだったので、こっちはわかって |
| 0:33:47 | 初期剛性の方はわかったんですけど、どっちかっていうとその取水層の方見たときに、レジ張り0も関係あるのかなと思って、 |
| 0:33:58 | ひずみレベルがどこにあるかによってはまた変わってきますよね保守、保守的かどうかね、初期剛性外幾つであってもですね、なので、先ほどの説明とちょっと矛盾があるかなと思ってちょっと確認だけさせていただいたので、 |
| 0:34:16 | 規制庁の矢崎ですが、多分 300、286 ページの一番す、最後のパラグラフ、 |
| 0:34:22 | 同等であるからってということで同等ではないんです。 |
| 0:34:26 | 下回っているものの、基本的にはそちらで言うと、 |
| 0:34:30 | いわゆる 385 の、 |
| 0:34:35 | ディーゼルをかけ合わせると、いわゆるチバcan γ 曲線に置き換えると。 |
| 0:34:40 | うん。 |
| 0:34:42 | 目標設定値の方が、 |
| 0:34:46 | 合成は、 |
| 0:34:48 | 由良熊田。 |
| 0:34:49 | ということだよね。 |
| 0:34:51 | ということが理由で解析を物性値設定するって書いていただかないといけないってことだと思います。そこはちょっと適正化してください。 |
| 0:35:00 | はい。中国電力鹿島です。ご指摘あった。ありがとうございます。先ほど藤村の方からもちょっとこれ回答させていただきましたようにちょっと、役割を踏まえてですね難透水性というところで必ずしも剛性がというところもちょっとあってこういう記載をさせていただいてたんですが、 |
| 0:35:14 | おっしゃられる通り字で見るとですね、下回ってる保守的な物性になってることはわかりますし、はい。そこはですね。 |
| 0:35:23 | はい。 |
| 0:35:24 | そうですね、あのですね次の曲線をつけた上でですね、計画保守的な設定となっているということを明確にさせていただきたいと思います。以上です。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:35:34 | 規制庁タップハットリですはいわかりました少しわかりにくかったので、適正化だけしていただければと思います。 |
| 0:35:40 | それともう1点ちょっとこれも確認なんすけど341ページ。 |
| 0:35:44 | 小崎少し説明を飛ばしたんですけれども、 |
| 0:35:47 | 341ページです。 |
| 0:35:50 | ここは改良地盤8流動化処理工法の話が書いてありまして、 |
| 0:35:55 | 上から4行目のところは、 |
| 0:35:58 | 裕度向上対策として薬液注入工法による地盤改良を行うとしたものであるみたいな記載があるんですけれども、 |
| 0:36:06 | ちょっと、 |
| 0:36:07 | 少しこれは流動化処理同工法による、 |
| 0:36:11 | 地盤改良を行うこととしたものであるっていうのだとちょっと頭に入ったんですが、薬液注入がここに急に出てきたので、ここの記載の趣旨をちょっと説明していただけますかどうぞ。 |
| 0:36:24 | はい。中国電力のユリです。こちらコメント回答にもなっておりますのでちょっと説明の方飛ばさせていただいたんですけどちょっと中身をまずご説明させていただきたいと思います。 |
| 0:36:34 | 341ページの4.8-1がですね、こちらの逆Tの改良地盤8の経緯と役割ということで、経緯というのが設置許可審査からどういった経緯でこういう改良地盤8っていうのが、 |
| 0:36:47 | 自主的な対策として我々改良したかっていう、こちらを書かせていただいております。 |
| 0:36:54 | 設置許可審査におきまして、 |
| 0:36:57 | 液状化を考慮した基礎地盤の滑り安全率、こちらを算定した結果なんですけども、 |
| 0:37:02 | 上から3行目書いておりますけど1.52ということで、基準値1.5を満足するんですけども裕度が小さい結果となったということで、液状化抑制重く、目的としまして自主的な対策として、 |
| 0:37:15 | 設置許可当時はですね薬液注入工法ということでご説明をさせていただいております。 |
| 0:37:20 | その滑り安全率が、こちらのページの一番下の方に、 |
| 0:37:25 | 右側ですねばらつきを考慮した滑り安全率1.52ということで記載をしております。 |
| 0:37:32 | 滑り面上見ていただきますと、左側のところに点線がございますけども、こちらが埋戻し動モリモト埋め戻しだったので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:37:41 | こちらを液状化影響を考慮して機動力抵抗力を見込まないと、そういう設定をして 1.52 という滑り安全率になってました。 |
| 0:37:48 | 342 ページ見ていただきますと、 |
| 0:37:53 | 衛藤設置許可段階では、その薬注を選択してたんですけども、その物性値につきましてはめどと同値ということで、投薬中をやったらどういう滑り安全率になるかっていうのを算定したのが、 |
| 0:38:08 | そちらの下の表のところにお示しておりますけども、先ほど 1.5 人だった滑り安全率がですね、1.67 に向上するよと、こういったことをご説明しておりました。 |
| 0:38:19 | ここまでが設置許可段階の話でございまして、 |
| 0:38:23 | そのあと、下に二つほどパラグラフありますけども、一つ目のところで設置許可審査後でございまして、 |
| 0:38:30 | 改良地盤 8 を実際に施工するにあたってどうやって施工したらいいかという経営計画をですね検討した結果、 |
| 0:38:37 | 改良範囲に既設の埋戻しをがないっていうこともありましたので、 |
| 0:38:42 | 確実に液状化抑制対策っていうのをを行うために、 |
| 0:38:46 | 実際に掘削してですねセメントでまぜて置き換えるっていう流動化処理候補の方がより確実に施工ができますよということで、こちらに工法変更することにいたしました。 |
| 0:38:56 | なので今工認段階で説明しておりますのは改良地盤の 8 という、8 は、流動化処理工法ということで、ちょっとややこしい。 |
| 0:39:05 | ことになってございましたすみません。 |
| 0:39:08 | 規制庁の服部ですわかりました |
| 0:39:11 | 先ほど説明がなかった。 |
| 0:39:13 | なんですけれどもごめんなさい説明がなくてもいいんですけど、なかったんですけど、一応この 141 ページだけ読んでしまったので、ちょっと私は、142 ページの最後まで読みきれなくて移動してしまったので、 |
| 0:39:26 | 少し勘違いしても読みました。最後の結論のところ、流動化処理に変更するということで書いてありますので、ちょっと私がちょっと先走った、 |
| 0:39:37 | ことでちょっと頭に入れてしまったのでちょっと変な確認になりましたけどよくわかりましたので聞きありがとうございました。以上です。 |
| 0:39:55 | 規制庁の服部です。失礼しました私の先走りです少し変えますけど、まず 100、100 番。 |
| 0:40:02 | コメント回答先やってもやってもらってもよろしいでしょうかどうぞすみません。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:40:11 | はい、すみません私も中国電力のユリです私もコメント回答先走ってご説明させて、してしまいました。コメントNo. 100 のコメント回答だけさせていただければと思います。 |
| 0:40:23 | ナンバー100 ということで、コメント内容が改良地盤 8 の工事方法の採用理由を説明することということで、先ほどご説明した概要をこちらに回答として記載しておりますけども、 |
| 0:40:35 | 改良地盤 8 において液状化抑制を目的とした自主的な対策として、設置許可では約中でしたが、その後の施工計画の関係で、流動化処理工法に変更する旨を記載してございます。以上です。 |
| 0:40:50 | 規制庁藤川です。コメント 100 ナンバー100 については了承と了承しました。342 ページのこの設置許可審査後、どうして |
| 0:41:00 | 広報変えたのかなってところについて、 |
| 0:41:05 | 前のヒアリングでちょっと理由を聞いたんですけども、より確実に液状化抑制対策を行うということで、 |
| 0:41:12 | 流動化処理候補、お前は何か年暫定処理だとかいう名前だったちょっとそこも、 |
| 0:41:18 | 正式な広報面直してもらって、なったということで資料全体的にそういう流動化処理工法でありますっていう形で書いた⑧のところやるって直してもらってるので、ここについては、100 万は了承したいと思います。 |
| 0:41:31 | 以上です。 |
| 0:41:38 | 規制庁の矢崎ですけど、今この自主的にやっているってこと、不 |
| 0:41:44 | 存じ上げていて、 |
| 0:41:46 | んですけども、 |
| 0:41:47 | 私たち別のところでコメント出していると思うんですけど、いわゆる止水ゴムと、 |
| 0:41:52 | への影響ってということで、多分ここで替えを自主的にやっているんですけど、波及的な影響としての検討が必要になってきますよね。 |
| 0:42:03 | されてると思うんですけど、そこに使う。 |
| 0:42:07 | 用途で、 |
| 0:42:08 | この物性値は、 |
| 0:42:10 | 決まってると思うんですけど、違いますか。 |
| 0:42:12 | はい。中国電力加島です。342 ページ先ほどご説明していただいたページなんですけど、そちらの一番右下最後のパラグラフのところをご確認ください。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:42:24 | 読みが読み上げますと、先ほど申し上げましたように我々、設置許可の段階では、埋戻し動として液状化するものとしての評価、ここは基本条件として書いてございません。あくまで、 |
| 0:42:36 | 自主対策として地盤改良をするということですが、こちら書いてございますように、設工認審査においても、設置許可審査と同様に、 |
| 0:42:44 | 改良地盤 8 の改良範囲は、埋め戻しととして評価することを基本としておりますが、 |
| 0:42:49 | 地盤改良により剛性が大きくなることが想定されますので、逆に擁壁への悪影響ですかね、があるかないか影響の有無を確認するということで、こちらの物性を設定した上で、先ほどおっしゃられたような止水五名の影響等も今後確認していきたいと思います。 |
| 0:43:04 | わかりました。ちょっと私の方で、 |
| 0:43:07 | 十分読み切ってなかったということで理解しました。 |
| 0:43:15 | 規制庁の服部です大変失礼しました私の先走った確認で少し |
| 0:43:21 | 順序が逆になりましたが、参考資料 13 全体について、改めて確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 0:43:36 | よろしいでしょうか。また後で全体を通して資料全体を通して確認する機会がありますので、もし新しい確認事項が出ましたらそのときまた説明確認していただきたいと思います。 |
| 0:44:03 | 規制庁の服部です。それでは参考資料 13 の新規の説明は承知をいたしました。では次の説明をお願いしますどうぞ。 |
| 0:44:17 | はい。中国電力の江沢です。それでは |
| 0:44:23 | この参考資料 13 に関しまして幾つかコメントをいただいております。そちらのコメント回答の方をちょっと 1 問 1 度受けさせていただきたいと思っております。 |
| 0:44:32 | はい。一番の資料をね、 |
| 0:44:35 | によってナンバー35、6 ページ目になります。 |
| 0:44:45 | 改良地盤の位置を明確にすることといたしまして、 |
| 0:44:50 | 2 番の市、 |
| 0:44:55 | はい、はい、2 番の資料 259 ページお願いいたします。 |
| 0:45:05 | 259 ページになりますと改良地盤の配置図、平面配置図、そして 260 ページ以降に、その断面図等の配置図というものを記載させていただいております。 |
| 0:45:17 | はい。以上です。 |
| 0:45:20 | 規制庁宮崎ですこれで結構です。了とします。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:45:23 | 次お願いします。 |
| 0:45:25 | はい。16年度検査ですありがとうございます。続きまして |
| 0:45:29 | ナンバー47、ページ、一番の資料で言いますと、7ページ目になります。 |
| 0:45:36 | これも、はい。設置許可審査において |
| 0:45:40 | 記載してる事項そして詳細設計段階での説明事項をご説明、説明。 |
| 0:45:46 | 正確に説明することといたしまして、 |
| 0:45:48 | まとめ資料2番の資料254ページお願いいたします。 |
| 0:45:59 | はい。254ページになります。 |
| 0:46:02 | こちらの逆T擁壁に関するところの記載となっていて、設置許可における記載事項、そして下のパラグラフで、詳細設計段階、本審査でご説明する事項というのを記載しております。 |
| 0:46:15 | そしてその流れをフローでまとめているというところで、 |
| 0:46:19 | こちら前回のヒアリングでご説明した内容がご回答になってると思っております。以上です。 |
| 0:46:26 | 規制庁の矢崎です私のコメントだと思いますがこれはこれで |
| 0:46:30 | 了解しました。 |
| 0:46:31 | OKです。 |
| 0:46:33 | 次お願いします。 |
| 0:46:35 | はい。中国電力伊佐です。 |
| 0:46:38 | 続きましてNo.91。 |
| 0:46:41 | 一番の資料で言いますと、11ページ、お願いいたします。 |
| 0:46:49 | はい。こちらにつきましてはJS2564、超音波測定の妥当性の観点で |
| 0:46:57 | ちょっと説明を拡充することというコメントいただいておりました。 |
| 0:47:00 | はい。 |
| 0:47:02 | まとめ資料でいきます302ページになりますが、前回、重役46012015というところを、 |
| 0:47:10 | 記載していたというところともう一つ、302ページ、2番の資料302ページです。 |
| 0:47:18 | すいません。 |
| 0:47:20 | はい。 |
| 0:47:21 | はい |
| 0:47:22 | の菱田の文書の1ポツ目を前回書いておりましたが2ポツ目、弱毒0198。 |
| 0:47:31 | 1987において |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:47:36 | そのVSというところを記載しているというところ、また地盤、3ポツ目のところで地盤工学会においても、超音波速度試験を求めて算出してよいという、そういった記載があることから、 |
| 0:47:47 | この超音波測定でのVs、 |
| 0:47:50 | せん断弾性係数の算定というのは妥当だと判断いたしました。 |
| 0:47:53 | 以上です。私のコメントだと思いますけど、特段問題ないと思います。 |
| 0:48:01 | はい。ありがとうございます。 |
| 0:48:02 | 続きまして、 |
| 0:48:05 | ナンバー102、A1判の資料で言いますと1911ページの一番下の行になります。 |
| 0:48:13 | こちら繰り返し3軸試験の |
| 0:48:17 | 結果、 |
| 0:48:18 | 破壊してないかどうかというところを前回写真をもってご説明させていただきました。 |
| 0:48:23 | そしてその破壊しなかった理由というところをちょっと、 |
| 0:48:27 | 拡充して参りました。まとめ資料、A2版で言いますと305ページ。 |
| 0:48:32 | お願いいたします。 |
| 0:48:37 | はい。 |
| 0:48:38 | 305ページになります。 |
| 0:48:42 | ここで言います、図4ポツお子さんの4、下のものになります。こちらJCS2563、繰り返し3軸試験方法の記載を抜粋したものでございます。 |
| 0:48:53 | こちらでは繰り返し3軸試験、非破壊の試験となりますので業者を破壊しないように、39、圧縮強さの0.5番目を超えない範囲で、 |
| 0:49:03 | 熟さをよく設定してるというところで今回 |
| 0:49:06 | 破壊にまで至っていないという、 |
| 0:49:09 | 至らないような試験を実施してるというところを記載しております。以上です。 |
| 0:49:15 | 規制庁の江崎です。 |
| 0:49:17 | 基本的にこれは了解です。いわゆるこれで僕も感じましたけど土質材料の変形材、これ研究特性を求める試験ではなくて、だんだん使ってるから、 |
| 0:49:26 | 高ひずみ領域までは、基本的には考えないようなシステムになってるってということで、了解しました。理解しました。以上です。 |
| 0:49:37 | はい。ありがとうございます。中国電力の伊佐です。続きましてナンバー105、一番の資料で言いますと、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:49:45 | 12 ページ。 |
| 0:49:47 | 上から 3 行となります。 |
| 0:49:50 | 熱気を取り除いた試験の結果の適用性というところで、 |
| 0:49:58 | まとめ資料 2 番の資料で 299 ページお願いいたします。 |
| 0:50:07 | はい。 |
| 0:50:14 | 2 番の資料 299 ページになります。 |
| 0:50:17 | (4)というところでまず、浸透固化処理工法技術レベルにつきましてこの準拠して提供と取り除いたというところをご説明させていただいております。 |
| 0:50:28 | そして利益を含む改良地盤については、今後、施工を踏まえてその影響を確認していくというところだったんですけども、まず、その |
| 0:50:38 | オカ式や物性値を設定するにあたって、 |
| 0:50:42 | どうかというところで |
| 0:50:44 | なお以降の文章となっております。 |
| 0:50:46 | 立地を含む改良地盤につきましてはその利益の基準、 |
| 0:50:49 | が |
| 0:50:51 | 気質や、今回の薬液注入の改良体となりますが、こちらよりも堅いというところから、この利益がある方が共有するというふうに判断しております。 |
| 0:51:00 | その判断しておりますが、実際のところの確認というところで今後施行を踏まえて営業の方見ていきたいと思っております。以上です。 |
| 0:51:10 | 規制庁大橋です。もう前回の部屋でも申し上げたんですけど、 |
| 0:51:14 | 歴とかが入ってくると、 |
| 0:51:17 | 改良の強度のばらつきが大きくなるっていう話がありますので、 |
| 0:51:22 | そういうのを懸念してるんですが、いずれにしても、 |
| 0:51:25 | 施工完了後に、現地盤のサンプリングをして、強度確認していただくということで、 |
| 0:51:33 | 了承しました。 |
| 0:51:38 | はい。 |
| 0:51:39 | ありがとうございます。 |
| 0:51:40 | 続きまして |
| 0:51:43 | ナンバー110。 |
| 0:51:45 | 一番の資料の 12 ページになります。 |
| 0:51:51 | あと、 |
| 0:51:52 | 逆T擁壁の改良地盤 1 から 3 につきましては、設置許可における、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:51:57 | 管理目標値という記載であったり、あと、110 番になります。はい。 |
| 0:52:03 | 21 ページ。 |
| 0:52:05 | 110 番です。 |
| 0:52:06 | 薬品は 4 時間につきましては設置許可の管理目標値というメッセージ、また、室内配合試験から決めた。 |
| 0:52:14 | 解析を物性値。 |
| 0:52:16 | そしてそれらを踏まえた品質確認における、物性値、ちょっとそういったところがあって実際に秘策において何を確認するのかというご質問いただいたと。 |
| 0:52:26 | 私は思っております。 |
| 0:52:29 | 2 番の資料 357 ページ、お願いいたします。 |
| 0:52:36 | はい。衛藤 357 ページ。 |
| 0:52:39 | 表上の表、表 5 ポツ 3-2 となります。 |
| 0:52:43 | こちらで品質確認試験で確認する管理目標値というのを記載しております。強度特性と、その変形特性として、それぞれ、 |
| 0:52:53 | τ 、またウノシートパイル、また |
| 0:52:57 | VS、そういったものを明確な記載とさせていただいております。以上です。 |
| 0:53:07 | 規制庁の三浦です。このコメントタニグチのコメントだと思うんですが、本人から了解という返事をもってますんで、次行ってください。 |
| 0:53:16 | はい、ありがとうございます。 |
| 0:53:19 | 続きましてこちら、逆。 |
| 0:53:22 | 改良地盤、最後のコメントとなります。ナンバー111。 |
| 0:53:26 | 10、 |
| 0:53:28 | 2、 |
| 0:53:29 | 12 ページとなります。 |
| 0:53:33 | ですね逆T擁壁の改良地盤につきましては設置許可の方でもご説明させていただいていて、今回は医療、今回地盤のことだったというところですが、 |
| 0:53:43 | 今回新たに室内配合試験をしたというところでモリモトの改良地盤の取り扱いと、 |
| 0:53:48 | いうところをご質問いただいております。 |
| 0:53:52 | 2 番の資料、293 ページお願いいたします。 |
| 0:53:59 | 293 ページ、4 ポツ後の |
| 0:54:04 | 第 2 段落目になります。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:54:06 | カワシマ 1 から 3 につきましては一部施工済みでございますが、未改良範囲の地盤改良、こちらに加えまして、施工済みの範囲についても、今回新しく設定した配合で地盤改良することから、 |
| 0:54:18 | 新設の改良地盤として取り扱おうと、そして |
| 0:54:22 | 数回石油水準を室内を試験から求めたもので設定するといった記載をさせていただいております。以上です。 |
| 0:54:30 | はい。規制庁の三浦です。よくわかりました。これで結構です次行ってください。 |
| 0:54:36 | はい。 |
| 0:54:37 | ありがとうございます。 |
| 0:54:39 | はい。それではえっとですね。 |
| 0:54:43 | 今回補足説明し 2 番の資料において本、 |
| 0:54:47 | いくつか本体側でコメントいただいておりますのでそちらの方回答させていただきます。一番の資料でナンバー2、 |
| 0:54:56 | 3 ページ目になります。 |
| 0:55:02 | こちら |
| 0:55:03 | 杭の周面圧力のついで考慮すること。 |
| 0:55:07 | するならこれなら、その考え方を説明すること。 |
| 0:55:11 | こちらにつきましては以前ご回答させていただいていたんですけども、ちょっとまだこの回答整理表という形では説明 |
| 0:55:18 | ご回答しなかったので今回、 |
| 0:55:20 | 改めて |
| 0:55:22 | 説明、回答させていただきます。 |
| 0:55:25 | はい。江藤。 |
| 0:55:27 | 回答としましては |
| 0:55:29 | 周面をさせることは考慮しないということで、まとめ資料で言いますと 5 ページ目だったり 98 ページにその周面摩擦力という記載を削除したものとなっております。 |
| 0:55:49 | はい。規制庁千田です。この記載で結構ですが、一応基本とするって書いているので、基本としない場合っていうのがもし出てきた場合は、何らかの理由を書いてください。はい。以上です。 |
| 0:56:08 | はい。ありがとうございます。続きましてナンバー |
| 0:56:12 | 一番の資料でいきますとナンバー3、3 ページ目になります。 |
| 0:56:16 | こちらもすでに、はい。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:56:19 | 回答済みではございましたが難波の拠点集約とこちらサイショの方ですね。 |
| 0:56:25 | ちょっと数値オカ地区から変えようかという話がございましたが、変えてないというところで、ちょっと冒頭の記載が少し、 |
| 0:56:35 | 簡潔に書き過ぎておりました、少し記載だけ直させていただきました。 |
| 0:56:40 | はい。 |
| 0:56:42 | 続きまして 61 番東海林オオツカNo.67。 |
| 0:56:50 | 9 ページお願いいたします。 |
| 0:56:56 | それで衛藤支持力のところになります。 |
| 0:56:59 | が |
| 0:57:01 | ショーによってその岩盤で使うのか、それが地盤に使うのかというちょっと適正化して説明することということで、 |
| 0:57:08 | まとめ資料の 2 番の資料の 97 ページお願いいたします。 |
| 0:57:20 | こちらの前段の方につきましては岩盤の支持力の結果平板最下試験の結果の説明に行きました。すいません。 |
| 0:57:30 | ページが 95 ページ 96 ページです。 |
| 0:57:33 | で、5 ポツに、97 ページにある 5 ポツに直接基礎の主力算定式これに適用するものとしまして岩盤以外のものというところで記載を |
| 0:57:43 | 追記しております。以上です。規制庁の江崎ですこれで。了解です。 |
| 0:57:53 | ありがとうございます。中国電力の伊佐です。続きましてナンバー34。 |
| 0:58:00 | 一番の資料で言いますと 6 ページ。 |
| 0:58:04 | お願いいたします。 |
| 0:58:08 | 今回衛藤。 |
| 0:58:10 | 島根につきましては、上本紫藤土佐礫層こちら液状化の対象としております。 |
| 0:58:16 | そこに至るまでのプロセスについてちょっとなかなか文章がわかりにくいというところで、 |
| 0:58:23 | 少し記載を見直しました。 |
| 0:58:25 | 2 番の資料 39 ページお願いいたします。 |
| 0:58:38 | はい。 |
| 0:58:39 | 39 ページになります。 |
| 0:58:42 | こちら液状評価対象層の抽出というところで、 |
| 0:58:46 | えっとですね、こちらの文書において |
| 0:58:52 | あと志間における地盤の |
| 0:58:55 | 各地盤の説明は記載しておりました。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:58:58 | ちょっとその中にそういうところ道路供試表彰だったり、港湾基準だったりそういった液状化判定のフローの話がちょっと曖昧に入ってきてなかなかちょっとわかりづらい文章となっております。 |
| 0:59:09 | ですねちょっと文章構成を変えましてまず、そういった地盤。 |
| 0:59:14 | の説明をさせていただいて続いて、 |
| 0:59:18 | 40 ページお願いいたします。 |
| 0:59:23 | 中ほどになりますが、 |
| 0:59:28 | 敷地内の地盤材料のうち、液状化判定を実施する地盤抽出結果というところで、粘性度は粘土質であること、またステージ最盛期やSTACY 等のようなものは、 |
| 0:59:41 | 十分透水性有するということから液状化判定の対象外とするということで、まず埋め戻し動作礫層こちらを液状化判定の対象と |
| 0:59:49 | に上げたということを記載しております。 |
| 0:59:52 | そして、こちらを対象としまして、道路教授報償港湾基準そのフローに基づいて、抽出したと。 |
| 0:59:59 | いうところを書いております。 |
| 1:00:02 | さらに保守的にですね、その下の段落になりますが、 |
| 1:00:09 | 道路狭小がさらに厳しい。 |
| 1:00:11 | 基準でピックアップするということではいきますと、このメモ者がこれに該当するということでは、 |
| 1:00:17 | 埋戻しとも、 |
| 1:00:19 | 議場が対象者になるということでは、 |
| 1:00:22 | 島根では埋め戻し動作礫層こちら両方を、 |
| 1:00:25 | 液状化の検討対象とするという記載に見直しました。以上、以上です。 |
| 1:00:34 | はい。規制庁の三浦です。前回のから見るとかなりわかりやすくなりました。これで結構です。ついてください。 |
| 1:00:43 | はい、ありがとうございます。 |
| 1:00:45 | 中国電力の磯田です。続きましてナンバー43。 |
| 1:00:49 | 一番の資料で言いますと、 |
| 1:00:51 | 7 ページ目。 |
| 1:00:53 | お願いいたします。 |
| 1:00:57 | 43 です。衛藤島につきましては |
| 1:01:01 | 簡易設定法より液状化強度を設定してそれで耐震評価をしていくというところをご説明しております。 |
| 1:01:07 | 今回 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:01:08 | 液状化強度試験よりも、細かい設定を設定した強度の方が、 |
| 1:01:13 | 保守的な結果となっているというところがございますがその要因を説明すること。 |
| 1:01:18 | ということでまとめ資料 85 ページお願いいたします。 |
| 1:01:23 | 2 番の資料です。 |
| 1:01:32 | 85 ページの |
| 1:01:36 | 下から 6 行目となります。 |
| 1:01:38 | 机上か共同試験と簡易設定法による液状化強度の差異の要因としまして、 |
| 1:01:44 | 少しそのページが戻りますが、 |
| 1:01:49 | わかりやすいのが 82 ページとなります。 |
| 1:01:53 | はい。大賀委員会設定法といいますのはN値だったりそういったものから決まる。決める方法でございますが、そのN値を決定する際にですね、 |
| 1:02:02 | こちら書いてあります通り非常に高い値になるものというのはオミットして、その辺、 |
| 1:02:09 | した後で評価をするというところが要因となって |
| 1:02:15 | 解説A法で決めた強度が保守的設定されるというところを記載しております。 |
| 1:02:20 | 以上です。 |
| 1:02:25 | 規制庁の三浦です。これ参考 10 にも出てますけど、あれですよ。 |
| 1:02:31 | 強度試験に比べると簡易設定方だと。要素試験、要素シミュレーションから見ると早めに液状化してるんで、保守性がそこで確認されたという内容ですよ。 |
| 1:02:41 | はい、わかりました。これで結構です。 |
| 1:02:46 | はい、ありがとうございます。 |
| 1:02:48 | はい。 |
| 1:02:50 | それではとですね |
| 1:02:52 | と、 |
| 1:02:53 | この 1 月 2 月ぐらいの、中部電力さん、すいません。 |
| 1:02:57 | 1 月、2 月のヒアリングですよ、補足説明資料の拡充というところで、 |
| 1:03:03 | 一番の資料で言いますとナンバー5。 |
| 1:03:09 | 設計条件の設定方法、設定結果、そういったもの調査のエビデンスについて補足説明資料で拡充して説明すること。 |
| 1:03:16 | また、ナンバー48、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:03:20 | 7て一番資料7ページになりますが、 |
| 1:03:24 | 設置変更許可申請書に記載されてない物性時につきましてはその試験結果し試験の最終値だったり、 |
| 1:03:32 | その方法、結果、他院引用するなど、した文献値が決めるのであればその |
| 1:03:38 | 妥当だと、あるは、 |
| 1:03:40 | と判断する根拠、それをきちんと整理して説明すること、そういった |
| 1:03:45 | コメントいただきました。 |
| 1:03:47 | こちらに持って等ですね、 |
| 1:03:50 | 一番わかりやすいのがまとめ資料の |
| 1:03:55 | すいません。 |
| 1:03:57 | 有事、 |
| 1:03:58 | 違う。 |
| 1:04:00 | 29ページをお願いいたします。 |
| 1:04:10 | 2番、22番後29ページです。 |
| 1:04:15 | 今回ですね、設置変更許可申請書に記載された解析を没水として、 |
| 1:04:20 | 表4ポツ2-1のようにいくつか、 |
| 1:04:24 | ございます。 |
| 1:04:25 | これらにつきまして、一つ一つ、 |
| 1:04:28 | 資料作成して参りましたので、こちらで、 |
| 1:04:33 | ご説明させていただきたいと思っております。 |
| 1:04:37 | ちょっとこれからの説明につきましては、参考資料、 |
| 1:04:41 | 旧から今回新しく |
| 1:04:43 | 記載拡充として参りましたのでご説明させていただきまして、 |
| 1:04:47 | それに関連するし、コメントがついたものについても、 |
| 1:04:51 | あわせて説明させていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。 |
| 1:04:57 | 規制庁の服部ですまず、確認ですけど、ナンバー5じゃなくてナンバー4ですね。 |
| 1:05:08 | 要は、 |
| 1:05:11 | ごめんなさいナンバー5か、ごめんなさいナンバー5。 |
| 1:05:16 | あ、ごめんなさいナンバー5でいいですねすいません。ナンバー5ですね。ちょっとナンバー5については、趣旨としては、物性値を設定する場合は、きちっと |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:05:27 | エビデンスを示してくださいねという趣旨で発言をしたものであって、このエビデンスの内容ここニイツこのビジネスの内容については、また別途コメントが入ると思いますけれども、 |
| 1:05:39 | 私の趣旨としては、ちゃんと種エビデンスを示してくださいということで、一応エビデンスは示されているということで、29 ページでそれぞれですねそれぞれの |
| 1:05:52 | 対象の層に対して、参考資料一つ一つ作って、エビデンスを中国電力としてしっかり作ってきたということで、この 5 番については、 |
| 1:06:02 | 良にしたいと思いますので、あと 48 番についてはそのあとまたいろいろとあると思いますので、そのあと説明をしていただけたらと思いますのでとりあえず、 |
| 1:06:12 | 5 番については一旦ここで了にしたいと思います。 |
| 1:06:18 | そうですね、29 ページを見たらわかるということで、ただ 1 点ですねこの回答の中でご説明するって書いてあるんですけど、後はいらないので、こういう表現はやめていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。 |
| 1:06:31 | ですので 5 番については、了としたいと思います。では引き続き、48 番について説明をお願いしますどうぞ。 |
| 1:06:39 | 中部店です。はい。失礼いたしました。はい。 |
| 1:06:43 | それでは今回ですね、 |
| 1:06:46 | 参考書の方をご説明させていただきたいと思います。ちょっと 2 番の資料で、 |
| 1:06:51 | まず簡単にもう、もう久慈からご説明させていただきます。 |
| 1:06:55 | 2 ページ目、お願いします。 |
| 1:07:01 | 今回、 |
| 1:07:03 | ご説明する参考資料といたしまして、まず 2 ページ目の旧三光小 9 ということで佐伯層の解析用物性時、 |
| 1:07:10 | 1 枚めくっていただきまして 3 ページ目。 |
| 1:07:12 | 参考書中では沼尾小学校年生の物性値。 |
| 1:07:16 | 11 アラキ塑性消費フクイ市へとそういったこういったものをご説明させていただきたいと思います。 |
| 1:07:23 | それでは参考資料 9 ということで |
| 1:07:29 | はい。 |
| 1:07:29 | 金城。2 番資料の 103 ページお願いいたします。 |
| 1:07:37 | 参考昇給、砂れき層の解析用物性値について、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:07:41 | 今回こちらにつきましては |
| 1:07:44 | 新しく資料を作成したものとなっております。 |
| 1:07:49 | と、支払い現職発電所のサービスにつきましては、図に示します通り、 |
| 1:07:54 | 局所的に |
| 1:07:56 | 分布しております。 |
| 1:07:57 | こちらの物性値につきましては防波壁の評価において、解析モデル取り入れる必要があることから、適切な物性値を設定することといたしました。 |
| 1:08:08 | 次のページ 104 ページをお願いいたします。 |
| 1:08:11 | その設定方針といたしましては、基本 1 試験室内試験の結果からも設定すること、また、液状化による構造物被害予測プログラムFLIPで必要な |
| 1:08:23 | 博士パラメータの簡易設定法、5 分港湾、原子量と言いますが、こちらを踏まえて設定する方針といたしました。 |
| 1:08:34 | 2 ポツに試験、実験及び 3 試験というところで今回自社試験の記載しております、 |
| 1:08:41 | 次の 105 ページ。 |
| 1:08:43 | におきまして今後採取した資料の 1 を記載しております。 |
| 1:08:50 | 106 ページにおいて |
| 1:08:54 | オノの結果をご説明させて、記載しております密度間隙率、S波速度、 |
| 1:09:00 | そしてヒンズーといたしまして動的変形特性で、 |
| 1:09:04 | 図 2-2 のG毎時 0、そして、次のページに、 |
| 1:09:07 | 107 ページに、平時アマノ関係を記載しております。 |
| 1:09:12 | そして繰り返し 3 軸試験の |
| 1:09:15 | 英語の写真を載せておりますこちらは書いてないというところを確認しております。 |
| 1:09:21 | 物性値の設定方針といたしましては先ほど、ショウジュがご説明した通り、同じ同様の考え方で説明設定をしております。 |
| 1:09:31 | 1 点 110 ページになりますが、当粘着力 $c\phi$ につきましては、考案検証に基づき設定することとしました。 |
| 1:09:45 | 112 ページ。 |
| 1:09:47 | なります。 |
| 1:09:49 | 量的な設定というところで、密度ハロー |
| 1:09:53 | につきましては今回再確認した値、2.05 を使います。 |
| 1:09:59 | また、間げき率につきましては、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:10:02 | 今回 0.39。 |
| 1:10:05 | という与えられましたのでそれよりも、大きな間隙率 0.45 という値を採用いたします。 |
| 1:10:11 | そして(2)動せん断弾性係数GMにつきましては、 |
| 1:10:17 | 佐原決まるものとなっております。 |
| 1:10:20 | 今回表にお示します通り、エサにつきましては平均 524、 |
| 1:10:27 | σ でいきますと 463 というところで、 |
| 1:10:31 | 千賀清家が低いほど、地盤が低くなって構造物としては厳しくなるというところで、これよりも低い。 |
| 1:10:39 | 厳しい、低い、設計数は速度として 400、 |
| 1:10:43 | を採用いたしましてこれでGMAの方さ設定いたします。 |
| 1:10:47 | これらを用いまして動的変形特性というものを、 |
| 1:10:53 | 112 ページ。 |
| 1:10:56 | 書いております。 |
| 1:10:57 | 試験結果とそのFLIPで設定される動的変形特性の比較がありまして、 |
| 1:11:04 | 今回は、試験結果のほうが上回っているというところで、今の設定は妥当だと判断しております。 |
| 1:11:11 | そして 113 ページになりますが、 |
| 1:11:15 | 砂れき層、こちら液状化を検討しますので液状化パラメーター |
| 1:11:19 | こちらを設定いたします。こちらにつきましては設置許可から変更せず、しないように、 |
| 1:11:25 | しております。 |
| 1:11:27 | また、(5)粘着力や摩擦角というところで、 |
| 1:11:32 | この意見書に基づきまして粘着力 c は 0 といたします。 |
| 1:11:36 | ϕ につきましては、 |
| 1:11:38 | こちらに示しております。 |
| 1:11:43 | 申し上げますちょっとこちらシキイの番号振りが、 |
| 1:11:48 | シミズサイショ。 |
| 1:11:49 | あ、すいません、ちょっと文章下の方で、3453 で少し正しく 789 になります。失礼しました。 |
| 1:11:58 | こちらについて相対密度 D_r から 114 ページに示します図、保安研修に示される図、こちらをもって ϕ を算定するというところで、 |
| 1:12:10 | この解析を物性値として設定いたします。 |
| 1:12:14 | これらを踏まえまして 115 ページ。 |
| 1:12:18 | に今回佐伯層における解析用物性値、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:12:22 | また |
| 1:12:24 | 116 ページにその根拠というものを記載させていただきました。 |
| 1:12:31 | はい。閉鎖。 |
| 1:12:33 | 規制庁の羽鳥です。どうしよう一つ一つの参考資料で、 |
| 1:12:38 | 確認をしていった方がいいのか、いいか、いいですかね。 |
| 1:12:43 | はい。 |
| 1:12:44 | では一つ一つの参考資料について説明して、あと、何か確認することがあれば確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。 |
| 1:12:57 | ちなみにですね 113 ページの、 |
| 1:13:00 | 牛木さんと志岐 4 歳来こうこれ誤記だね。 |
| 1:13:05 | 789 ですね。 |
| 1:13:07 | ごめんなさい。おっしゃる通りでございます。失礼しました。こちら、 |
| 1:13:11 | 直させていただきたいと思います。規制庁のエザキですが、114 ページですね、基本的に、これ相対密度から案件の資料から決めているということで、 |
| 1:13:23 | ある種、FLIP。 |
| 1:13:26 | 使う上でのお作法的なものでっていうか、参考資料的にはこういうふう に扱ってるのは理解しているんですが、 |
| 1:13:35 | 一方でこの後で出てきますけど、文章は基本的にはこういうふうな、 |
| 1:13:40 | 代表値、 |
| 1:13:41 | とかですね、そういう参考値を使っていると。 |
| 1:13:47 | ということで理論解きと理論解でもないんだよねこれね。 |
| 1:13:51 | うん。 |
| 1:13:53 | 実質的に 38.7 っていうのが、 |
| 1:13:57 | ササキとして、 |
| 1:13:59 | 何か、 |
| 1:14:00 | 若干高めの方ではないかなとは思っています。 |
| 1:14:04 | ていうのは、いや、 |
| 1:14:06 | 道路土工とか、 |
| 1:14:08 | 参考としている、設計の参考としているその標準値等から見てもですね かなり高めの設定になっているということになってます。 |
| 1:14:18 | 基本的には道路どこで、大体、 |
| 1:14:22 | セキ |
| 1:14:24 | 歴、 |
| 1:14:25 | あとできま自立なんていうのは大体 30、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:14:29 | 5 度から、 |
| 1:14:30 | という始まって大体 40° で範囲は入ってはい入るんですけど、 |
| 1:14:35 | 下限値でもないし、 |
| 1:14:36 | 何か嘘。 |
| 1:14:38 | 抜本的に何かその安全側だっていう解釈もできないので、我々としてはこれが設計に解析に及ぼす影響を踏まえてですね、どういう影響が |
| 1:14:49 | あるのかってのはちょっとわからないので、基本的に今この 38.4。 |
| 1:14:54 | 74 ってのはこういう式で求めましたといえどもですね。 |
| 1:14:57 | 一般値、一般の計算方法でも何でもないので、 |
| 1:15:01 | 基本的に行ったときに、 |
| 1:15:03 | これが安全側になっているのか。 |
| 1:15:06 | いわゆる、我々として確認しなきゃいけないのは、 |
| 1:15:09 | 包丁てっていう、包丁防波壁というSクラスの施設の安全機能を、 |
| 1:15:16 | を損なうことがないかと基準地震動Ss |
| 1:15:19 | に対してですね、そういったときの判断。 |
| 1:15:23 | そうする上で、この物性値が、 |
| 1:15:25 | 安全機能その間だけのそのちゃんとした、 |
| 1:15:30 | 妥当な数字なのかっていうのを判断しなきゃいけないんですが、 |
| 1:15:33 | 比較論としてどう比較。 |
| 1:15:35 | そして出てこ。 |
| 1:15:39 | 何か対比するものがないので、 |
| 1:15:41 | 判断するすべがないというのが実情です。 |
| 1:15:45 | ですので、ちょっと話が長いですが、 |
| 1:15:49 | 基本的にもう 38.74、 |
| 1:15:53 | 用いても、何ら |
| 1:15:55 | 安全機能に影響を及ぼすものではないってというような、何か、 |
| 1:16:00 | 説明がないと、ここはちょっと判断できないと思ってますが、いかがでしょうか。 |
| 1:16:08 | はい。中国電力の吉住でございます。ご趣旨理解いたしました。 |
| 1:16:14 | 衛藤。 |
| 1:16:15 | まず斉木層自体につきましてはその前のページの 105 ページ等で局所的な部分で、 |
| 1:16:23 | 衛藤層厚もかなり薄いものでございますという、限られた局所的な分布になっていて層厚の推移ということで、なかなか資料が、しかも利益をまじっていて、取りにくいというところもございまして今こういった、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:16:37 | 港湾危険。 |
| 1:16:39 | の資料等を使っておりますので、 |
| 1:16:41 | 今回、液状化する対象層としてこの砂れき層を設定しておりますので、 |
| 1:16:47 | 地下水以下でございますので今の基準地震動Ssによりますと液状化が起こるといったようなものでございますのでまずそういった観点も踏まえまして、 |
| 1:16:58 | この、今 38 度と設定している内部摩擦角が、どれぐらいの影響があるのかということも含めて少し検討させていただいて、 |
| 1:17:08 | また、ご回答をさせていただけたらと思います。以上です。 |
| 1:17:13 | 規制庁の江崎です。今のご回答で、多分 |
| 1:17:18 | せん断。 |
| 1:17:20 | 抵抗額ですか。ダイバース近く。 |
| 1:17:23 | 相当する値ですけども、これらが基本的には改正設計に、 |
| 1:17:29 | どの程度の感度があるのかっていうのを、し、そちらの方でまた示されて、今の 38.74、 |
| 1:17:38 | でもその設計として妥当であるということが認識できる説明があるということで認識しましたので、それはまた |
| 1:17:45 | 回答をもってアハタ、回答していただければと思います。 |
| 1:17:52 | はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。 |
| 1:17:56 | 一般的な値と比較したりしてですね、ちょっと感動システムをしてみて、また改めてご回答したいと思います。以上です。 |
| 1:18:07 | 規制庁の矢崎ですが他に何かここに関して章で |
| 1:18:12 | 参考。 |
| 1:18:13 | 9 ですか。何かコメントまたは確認があればお願いします。 |
| 1:18:21 | 内容なんで、 |
| 1:18:23 | では次の参考資料の説明をお願いします。 |
| 1:18:29 | はい。中央権力の伊佐です。はい。続きまして参考資料 10 年制度の解析用物性値。 |
| 1:18:36 | あります。2 番の資料で 117 ページから、 |
| 1:18:39 | ご説明させていただきます。 |
| 1:18:43 | 島根原子力発電所における年制度につきましては図、図に示します通り |
| 1:18:49 | 編、 |
| 1:18:51 | 施設護岸の建設におきましては 5 章の取水性を確保するために、この年制度を施行しております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:18:59 | こちらにつきましては防波壁た事故後平均の |
| 1:19:03 | 方の解析評価に於いては解析モデルとして入ってくることから、適切な物性値を設定することといたします。 |
| 1:19:10 | また、 |
| 1:19:12 | 強度特性といたしましては、FLIP研究会の報告を、 |
| 1:19:16 | 踏まえましてCイコールゼロ $\phi = 30$ 、そういったものを設定いたします。 |
| 1:19:20 | こちらの妥当性につきましても今回 30 圧縮試験を実施いたしましたので、ご説明いたします。 |
| 1:19:28 | こちらにつきまして、ちなみに |
| 1:19:30 | 設置許可からのちょっと申し送り事項の一つとなっております。 |
| 1:19:36 | はい。 |
| 1:19:38 | 118 ページになります。解析用物性の設定といたしまして先ほどの佐田木曾と同じく、試験の結果から、基本設定すること、またFLIP研究会報告。 |
| 1:19:49 | 影響度の方を設定するということでございます。 |
| 1:19:52 | 下の表の 2-1 に今回実施した試験、 |
| 1:19:57 | また、119 ページにおきまして今回採集した資料の 1 を載せております。 |
| 1:20:05 | 120 ページに |
| 1:20:08 | 今回実施した試験の結果を載せておまして図の 2-2、次の 121 ページに図の 2-3 で繰り返し 3 軸試験の $D0\gamma$ 、 $h\gamma$ の関係を記載しております。 |
| 1:20:22 | 今回実施した繰り返し 3 軸試験の写真というものを載せておまして、こちら業者破壊しないというところを確認しております。 |
| 1:20:32 | で 122 ページ、解析用物性値の設定方針というところでは |
| 1:20:37 | こちら引き続き、この先ほど同様となります。 |
| 1:20:41 | 124 ページの (5)、下の粘着力 c 及びイナマスがファイルにつきまして先ほど申し上げた通り、 |
| 1:20:49 | FLIP研究会報告のところを、3、参考するということでございます。 |
| 1:20:54 | 125 ページ、解析用物性値の設定というところに対して、 |
| 1:20:59 | なりましては、(1) 密度につきましては、今回確認した平均値を 2.07。 |
| 1:21:06 | また、間げき率につきましては、0.39 を確認しましたので、それよりも大きな値を採用しました。2.55。 |
| 1:21:16 | で、(2) 増せん断弾性係数の GMA につきましては、この算定用いる V_s というところで、表 2-4 にお示します通り、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:21:28 | 平均が 451。 |
| 1:21:30 | ーワンシングマが 391 というところで、 |
| 1:21:34 | 3、防災低いほど保守的という観点から、設計のS波速度 300 というものを使います。 |
| 1:21:42 | そしてこれらを踏まえまして動的変形特性といたしまして、中の 5126 ページ、 |
| 1:21:49 | なりまして試験結果とそのFLIPから設定される動的変形特性を比較しておりまして、概ね試験結果の方が上回っているというところで妥当というふうに考えております。 |
| 1:22:02 | で、これらを踏まえまして次の 127 ページに競っ物性か粘性材設定する物性値を記載しております。 |
| 1:22:10 | そして 128 ページから、その強度特性の妥当性というところで、 |
| 1:22:17 | こちらにつきましては前回のヒアリングでご説明したところでございますので、割愛させていただきます。 |
| 1:22:23 | 今回ちょっと資料の記載を確認させていただきましたのが、133 ページ。 |
| 1:22:29 | お願いいたします。 |
| 1:22:34 | 部の前段ではそのC0φ30 の設定のところをご説明しておりまして、 |
| 1:22:41 | 今回 3 軸圧縮試験、 |
| 1:22:43 | 4 ヶ所行いました。 |
| 1:22:45 | その結果、 |
| 1:22:47 | が |
| 1:22:49 | 133 ページの図の 36 にその実施市さんの二相Cファイル。 |
| 1:22:54 | そしてその 130435 に実際の試験結果を載せております。 |
| 1:23:01 | 133 ページの表の 3-2 で見ていただきますと、 |
| 1:23:07 | 粘着力でいきますと、0 から 58。 |
| 1:23:10 | 金山ササキで言いますと 31 から 38.9 というところで、平均でいけばC が 21.7。 |
| 1:23:16 | 摩擦角が 35.3。 |
| 1:23:18 | というところとな、なることを確認いたしました。 |
| 1:23:22 | 135 ページになりますが、 |
| 1:23:25 | 3 ポツの妥当性確認というところ、結果というところで、今回、 |
| 1:23:31 | 1000、 |
| 1:23:33 | 実施した 3 軸試験結果というのは |
| 1:23:37 | 今回設定しているC=0φ=30、これを上回っているというところから、 |
| 1:23:42 | 今の設定は妥当というふうに判断しております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:23:46 | 以上であります。 |
| 1:23:50 | 規制庁の矢崎です私、ここに関して私特にコメントないんですが他にあり、誰かありますか。 |
| 1:23:58 | 規制庁のハツリです。一番の資料の1ページをお願いします。 |
| 1:24:05 | ここで申し送り事項116番があって、ここで、設置許可の時の申し送り事項になっていますけれども、 |
| 1:24:13 | この時は、年制度なので、資材じゃないかと、なので、何でφを使うんですかっていうところからスタートしています。 |
| 1:24:22 | 年制度なので、長期圧密地盤ということで、どちらかちょっと余裕試験を用いている場合が多いという認識がこの時はありました。 |
| 1:24:31 | いろいろと調べてみると、年制度であっても、少し圧密もするので芝試験とか使用試験を使っている事例もありますし、 |
| 1:24:41 | 心配で評価してるところもあつたりとか、あとは |
| 1:24:46 | 擁壁なんかの裏をめどでも、強い粘性度をファイザーとして、そのときはやはり25でやってますけど、評価するという事例もあつたりして、 |
| 1:24:57 | 資材をファイザーに置き換えて、10日にするのかそれとも保守的にするのかというのありますけども、そういうふうにして使ってる事例もあるということと、阪神淡路大震災の再現解析でも、 |
| 1:25:09 | このような値を使っているという、エビデンスも示されたということで、 |
| 1:25:14 | そういうことを総合的に判断すると、保守的という評価も出てますから、これは |
| 1:25:24 | 了としたいと、私としては思っています。今まで申し送り事項については、全部が終わってからというようなことでやってきましたけども、 |
| 1:25:35 | この申し送り事項116については、ヒアリングにおける確認事項という、 |
| 1:25:41 | 性質もありますので、これは今回、良としたいと思いますが、 |
| 1:25:47 | よろしいでしょうかどうぞ。 |
| 1:25:56 | はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。 |
| 1:26:00 | それ、 |
| 1:26:01 | そういうことで、理解いたしました。以上です。 |
| 1:26:06 | 規制庁の八田ですこれは一応量として、 |
| 1:26:11 | していただいて結構ですシムライシイなので、審査会合で説明することでもないの、また疑義が生じれば、また新たなコメントとして、 |
| 1:26:22 | 今回出させていただきますので一旦これは了としたいと思います。 |
| 1:26:26 | それでは |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:26:29 | 参考資料 10 について確認する点があるかと他におられればお願いします。 |
| 1:26:35 | よろしいですか。では次お願いしますどうぞ。 |
| 1:26:39 | はい。長羽田です。続きまして参考資料 11、既卒停止及び福祉の分析につきまして |
| 1:26:48 | 2 番の資料 136 ページをお願いいたします。 |
| 1:26:54 | はい。 |
| 1:26:56 | こちらにつきましては |
| 1:26:59 | 少し資料の方拡充して参りました。 |
| 1:27:02 | 島根原子力発電所における木曾STACY及び福井市につきましては、 |
| 1:27:06 | 図に示します通り護岸に置いて使用しております。 |
| 1:27:10 | これらにつきましては防波壁の開発評価におきまして解析まで取り込むというところで、物性値を設定するというところになります。 |
| 1:27:19 | そして |
| 1:27:22 | これにつきましては非常に大きなものというところでなかなか試験ができないという性質がございます。 |
| 1:27:28 | ですので今回、 |
| 1:27:31 | 考案基準であったり、高温設計事例集だったりそういったものからに記載される解析用物性値を設定するという方針で |
| 1:27:39 | 考えております。 |
| 1:27:45 | 今回設定する物理といたしましては、 |
| 1:27:48 | 139 ページというところでこちらは前回と変わりませんが、こういった物性値を、 |
| 1:27:55 | 事例集と同じく、考えております。 |
| 1:27:58 | そして資料につきましては、 |
| 1:28:02 | 140 ページからその妥当性というところをご説明しております。基本は前回ご説明させていただいたところございまして少し記載を見直すところだけ、 |
| 1:28:13 | ご説明させていただきますと、 |
| 1:28:16 | 144 ページになります。 |
| 1:28:24 | Gにつきましては |
| 1:28:29 | 今日動特性の |
| 1:28:31 | cφ の考え方というところで見ますと、 |
| 1:28:34 | 衛藤。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:28:36 | 図 3-5 に示します通り間隙比 0.9 という非常にゆるい詰め方で、 $C=20$ と。 |
| 1:28:43 | というような形が使われております。 |
| 1:28:46 | 今回島根につきましては大分、 |
| 1:28:49 | 設置されてから時間がたっているというところで、あとでしまったところ、 |
| 1:28:54 | 状態だと考えておりますので、この特性 C コニシを設定するということは、妥当保守的な設定と考えております。 |
| 1:29:02 | また、(2)増せん断弾性係数というところにいきますと、 |
| 1:29:08 | こちらGFAとしてはGとしましては、 |
| 1:29:13 | AVS300 という値をもって、 |
| 1:29:16 | 事故ログS2 以上でこのSTACY及び福士の物性が考えられております。 |
| 1:29:23 | その根拠としましては図、145 ページ。 |
| 1:29:26 | の |
| 1:29:28 | 図の 3-6 に示します通り、 |
| 1:29:32 | ある程度 5 メートルぐらいの深さにあるところが大体 300 というところで設定されているというところでございます。 |
| 1:29:38 | 島根原子力発電所におきましては、もうちょっと深い日、大体 15 メートルぐらいの深さにございますので、この V_s というのはいくらも高くなりますので、 |
| 1:29:50 | 今の設定というのは、保守的な設定と考えております。 |
| 1:29:54 | そして 146 ページ、3 ポツ 2 というところで、 |
| 1:29:58 | 地震時における、 |
| 1:30:03 | 考案事例集使えてる性の文献調査というところで、これは |
| 1:30:08 | 前回からお示しています通りその被害の再現事例というところが頭だと。 |
| 1:30:13 | いうところを、 |
| 1:30:14 | 記載しております。 |
| 1:30:16 | そして |
| 1:30:18 | 154 ページお願いいたします。 |
| 1:30:22 | 先行炉における基礎ステージ等の解析用物性値というところで、今回、島根へおける設定時の妥当性判断するために、 |
| 1:30:31 | 選考における実績というのを少し確認して参りました。 |
| 1:30:35 | こちらの記載につきましては我々独自で解釈したものとなってございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:30:40 | (1)、東海第2発電所、 |
| 1:30:43 | におきましては、図に吉見、 |
| 1:30:45 | 実施します通り、細胞施設の潮流ウエキこちらの周囲にステージが分布しているというところで、解析断面にモデル化してされております。 |
| 1:30:56 | 155ページになりますが、 |
| 1:30:59 | 東海第2発電所のステージにつきまして100キロから500キロというところの質を輸出しており、 |
| 1:31:06 | なかなか試験が困難というところで高温設計事例集に記載される値を用いられております。 |
| 1:31:12 | また、156ページ。 |
| 1:31:14 | 高浜発電所につきましても内部施設である放水工は、防潮で、こちらで木曾STACY及びフクイが分布しているというところで、 |
| 1:31:24 | 解析。 |
| 1:31:25 | 物性値として考案。 |
| 1:31:28 | 我々と同じように、港湾設計し、事例集から、 |
| 1:31:31 | 菅井関谷薄井を設定されているところを確認いたしました。 |
| 1:31:37 | 157ページになりますが、 |
| 1:31:42 | 今回の分、文献の、 |
| 1:31:44 | 根拠であったりその差、それを用いられた被害の再現事例、また先行の実績等も踏まえまして、 |
| 1:31:52 | 木曾清氏及び福士の物性値長谷 |
| 1:31:54 | 設定は、妥当と判断いたしました。 |
| 1:31:58 | 以上です。 |
| 1:32:02 | 規制庁の服部です。補足のほうの説明はよろしいんでしょうかどうぞ。 |
| 1:32:07 | 補足1補足には。 |
| 1:32:09 | 説明よろしいですかどうぞ当直員の伊佐です。こちらにつきましては前回と |
| 1:32:15 | 変わりませんのでか説明は割愛させていただきたいと思っております。規制庁の服部ですはい。わかりました。それでは、ただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 1:32:31 | 規制庁の江崎です。 |
| 1:32:32 | このですね、やっぱり基礎ステーし、 |
| 1:32:36 | 被覆石に関しては、基本的な港湾、 |
| 1:32:40 | 研究所で出している設計事例集から導き出されてるんですよね。これ1. モリモトを各社いろいろ使うしようと、使おうとしていてですね。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:32:52 | ただ、いろいろ聞いてはいるんですが、基本的に言うと、根本は何かっていうと、 |
| 1:32:59 | 兵庫県南部地震と、この前の 3.1 の地震含めて、そういった日を、 |
| 1:33:07 | 試験結果を味わう被害結果をもとにしてシミュレーションにしてそういう物性値をどんどん、 |
| 1:33:14 | そういう措置が決まってるってのは、旧基礎的なところあるんですよ。 |
| 1:33:20 | ただし、例えば他サイトで一番最初に試みたのは、私として事業者が行ってきた高浜サイショだったと、僕自身はそうだと思ってるんですがその辺も結構議論があって、 |
| 1:33:32 | 例えば 147 ページとか、 |
| 1:33:35 | そのあとの 149 ページとかあるんですけど、 |
| 1:33:40 | 147 ページで言えば、観測値は言っても今後ざくっとした数字なんですけど、傾斜って 5.1 って言ってるけど、 |
| 1:33:48 | ケース 4 で今使おうとしたら 20 度と、 |
| 1:33:52 | C20 の $\phi 35$ ですか。 |
| 1:33:56 | そういったときに、 |
| 1:33:57 | 4.69 で、設計としては、これが、 |
| 1:34:01 | 実測値を、 |
| 1:34:04 | 安全包絡できてるなら、 |
| 1:34:07 | 一つ。 |
| 1:34:08 | 理解できません。 |
| 1:34:09 | ただこれ研究なんで、このぐらいであれば標準的な値が求まると言っていて、 |
| 1:34:15 | サトウ、安全性を把 |
| 1:34:18 | 保証しますよっていう形にならないっていうのは、高山で話があります。そういう話があってすべてそういう話になっていくんですが、 |
| 1:34:26 | 基本的には |
| 1:34:28 | 実際に被災した。 |
| 1:34:31 | ものに対してどの程度へ変形が出るかっていうことでただ、これは、 |
| 1:34:39 | 国交省の |
| 1:34:41 | で行っている、自治体とかですね町自体も含めてその港湾で、 |
| 1:34:46 | 机を、施設をつくられるときにですねコガ施設少ない時にこれを使っているのは理解してはいますが、基本的に我々の原子力施設ということと、 |
| 1:34:56 | ターゲットとしているのが、Sクラスの、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:35:00 | 防波壁。 |
| 1:35:02 | ですので、 |
| 1:35:03 | いわゆるSクラスなんですよね。だからそうしたのに対して、十分な安全、 |
| 1:35:09 | 性が確認できるようなものなのかっていうと、ちょっと説明としては希薄かなっていうふうに考えています。 |
| 1:35:19 | そういった話を高浜でもやっていて、ですので、そのあとですね幾つかご説明あったと思うんですが、 |
| 1:35:27 | 使い方次第、 |
| 1:35:29 | かなと思っていて、 |
| 1:35:31 | 154 ページの、この東海大事なんですけど、 |
| 1:35:35 | 例の断面図を見ていただくと、このとき話が論じあったのは、この採石っていうのはちょっとすごく薄くて断面図わかりにくいんですけど、 |
| 1:35:45 | これ、貯留堰の設計の中で解析モデルとしてどうしても出てきちゃうんですよね。 |
| 1:35:50 | ただ、基本的に行って、安全機能を損なうような位置、 |
| 1:35:57 | その採石はないと。 |
| 1:35:59 | 何を言ってるかっていうと直接触れてるわけじゃないし、基本的には関係ないと。 |
| 1:36:05 | これが崩れようが別に多少水の量は減るかもしれないけど、もう抜本的にその波及影響とかそういった話にもならないので、基本的にはその安全機能を損なうことではない使い方なので、 |
| 1:36:17 | たまたま解析モデル、 |
| 1:36:19 | として計算する上で、 |
| 1:36:21 | どうしてもモデル化として出てくるので、計算してると。だから、 |
| 1:36:27 | これ貯留堰の設計なんすけど貯留堰の、 |
| 1:36:29 | 安全機能に損なうようなもの、代物じゃないと碎石がそのものの、 |
| 1:36:35 | 配置状態がですね。なので、そこは目くら立ってないよっていう話なんですけど。 |
| 1:36:41 | 高羽の方もやってますけども、ここもですね、 |
| 1:36:45 | 確か、 |
| 1:36:48 | どっちだったかな。 |
| 1:36:53 | ウダ底radじゃないかなんて言ったっけな、内浦湾内浦湾に面した |
| 1:36:59 | 放水側の方にあるんですね護岸に。 |
| 1:37:02 | ただ、ここで、フィリップ使っているのは、入力津波の、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:37:08 | 計算、高さを決める上で、どれだけ変磁場。 |
| 1:37:13 | 地震による地盤変状があるかということで1メートル2メートルと決めてるんですけど、 |
| 1:37:17 | それを決める上での参考値として、フィックまわしてるんですよ。だから、 |
| 1:37:23 | そのそれぞれのもので設計はしていないんです。 |
| 1:37:26 | ですから、使い方が実ん、各社違う使い方として、基本的に参考値だとかですね設計に特に影響はないんだ、影響範囲に入っていないんだけど、 |
| 1:37:38 | 基本的モデルに入ってしまうんで、使っているとかそういった副次的な一使い方なので、何らしか、 |
| 1:37:47 | その設計、施設の設計の安全機能に損なうような使うような品物として使っていないというのが実情ですそれから考えると今回はかなり違ってきています。 |
| 1:37:59 | そういったことから考えて、 |
| 1:38:02 | やはりですねこれ抜本的に、 |
| 1:38:04 | この数 g を使ってもですね、安全側と、 |
| 1:38:10 | 言い切らない限りですねそれ試験だとか、何ですか。 |
| 1:38:13 | んな、何か施工的にでもですね、正しくは抜本的に検討する必要があると思います。ただしですね、今まで説明を受けた中で、設置許可受け、 |
| 1:38:24 | 説明を受けた中では例えば136ページ、ここの資料では、 |
| 1:38:28 | 標準断面しか出てないんですが図の1と7としてですね。 |
| 1:38:32 | 基本的には、以前から、この |
| 1:38:37 | 馬のですね、前年護岸に関してはモデル化しない。 |
| 1:38:42 | ということ。 |
| 1:38:43 | もう、 |
| 1:38:44 | を基本として検討していただけないかと、いわゆるこの部分が変形してしまうとあまり、 |
| 1:38:50 | 安全性に関して関係の確認ができないので、 |
| 1:38:54 | というお話をさしていただいています。 |
| 1:38:56 | であるならば基本的には、モデルとしては入ってこないもので、特に問題ないと。もし、そのモデル指摘として検討したとしても、基本的には2個の |
| 1:39:07 | 例えば被覆カワセとかそういったものが、 |
| 1:39:12 | 逆に悪影響を及ぼす。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:39:15 | かどうかっていう観点で影響確認をするということで、それをモデル化して るっていうんだったらまた、 |
| 1:39:22 | それは副次的な扱いなので、特段そんなにいい制度を求める、なくても いいのかなっていう気がする。しますが、 |
| 1:39:31 | そういった使い方、 |
| 1:39:33 | 渡ったような気がします。 |
| 1:39:36 | 私はそうで、 |
| 1:39:38 | 以前から今日から要請しているのは、 |
| 1:39:42 | それとともにですねただ、 |
| 1:39:44 | 一部許可でも何か議論なりましたが貫通してる場合もあるんですが、 |
| 1:39:50 | その時そちらも今、認可の段階では、許可段階で、今の現段階ではおら れませんが、 |
| 1:39:59 | 確か黒川さんの方で、基本的には |
| 1:40:05 | 全部土だとしても、これは持ちますってということで、何かそういうご説明 もあったような気がします。 |
| 1:40:11 | そうしたことも踏まえていったときに、 |
| 1:40:14 | どこまでこの |
| 1:40:16 | 基礎ステージ、 |
| 1:40:19 | 及び医師福士を設計に反映するのか。 |
| 1:40:23 | 設計に、 |
| 1:40:24 | これを期待しないといけないってことは全然、 |
| 1:40:27 | 考えてないってのは、今日からお聞きしてますので、 |
| 1:40:31 | いわゆる |
| 1:40:35 | 補液を、 |
| 1:40:36 | 防護してる観点では全く考えていないっていうお話は聞いてます。た だ、実情としてはその周辺にあるので、どのように設計するかは、 |
| 1:40:46 | かなり詳細設計の段階までいろいろ検討したいので、お時間くださいと いうお話は、今日の段階聞いています。そうした中で、その使い方だ と思うんですよね。 |
| 1:40:57 | この物性値をどのように設計に使うか、それによっては、このさっきの高 浜だとか、 |
| 1:41:04 | 藤新居と同じで、その使い方次第で、ここはもう精査しなきゃいけない のか。 |
| 1:41:10 | ある程度、 |
| 1:41:12 | うまく量でも安全性がある程度抑えられればいとして考えるのか。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:41:18 | ということだと思うんですこんなお話をさせていただいてるのが、多分どの社も、 |
| 1:41:23 | これを使ってくるっていうのが、 |
| 1:41:24 | なかなか物理的に、 |
| 1:41:29 | これを精査した試験をするっていうのは難しいということだと理解しています。 |
| 1:41:34 | そういうことから考えると、 |
| 1:41:36 | どうしたらいいのか、今お答えをしていただくと結構なんです。今一度ですねここに関しては、 |
| 1:41:42 | 位置付け、いわゆるこの基礎ステージ、被覆石の設計としての位置付け、 |
| 1:41:49 | と。 |
| 1:41:50 | 実際、その位置付けに対応して、どのような設計、設計に、 |
| 1:41:57 | 反映するのかということ、また、 |
| 1:42:00 | 方針的なものも含めてですね。 |
| 1:42:02 | 改修がちょっと数一部進んでるかもしれませんが、今一度そこ立ちどまってですね、せんこの原子力の施設として、 |
| 1:42:10 | あるべき。 |
| 1:42:12 | 設計は、 |
| 1:42:14 | どうしたらいいのか、そこも含めてですね、もう今一度もう一度ご検討いただけないでしょうか。 |
| 1:42:24 | はい、中国電力のヨシツグでございます。 |
| 1:42:28 | はい。 |
| 1:42:29 | 設置許可のときからこのすT-C後被覆石につきましては、 |
| 1:42:37 | もともとその既設のケーソン開き失礼いたしました既設の護岸そのものの耐震性がないと。 |
| 1:42:42 | いうところから、この辺りをモデル化しない場合とする場合と、そういったような構造成立性の検討もして参りました。 |
| 1:42:51 | で、大きな影響はないというふうに我々思っておりますけれどもそういった設計上の位置付け、あと江崎さんおっしゃられた安全機能に及ぼす影響がどういったものなのかといったところが観点だというふうに理解いたしました。 |
| 1:43:04 | で、物性値そのものの使い方ということで、これを基本ケースとして、その影響を見ていくのか、それとも、それがそういった物性値によって、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:43:18 | 本体の防波壁にどういった影響があるのかと、そういったところの、もうところも含めて、実際に、 |
| 1:43:25 | 安全機能に及ぼす不正なのかどうかと、そういった観点だと理解いたしました。 |
| 1:43:30 | 場合につきましては、先ほど江崎さんおっしゃられた通り今 |
| 1:43:34 | 136 ページには、標準的な絵を載せておりますが、この 5 番施設護岸より、前田氏に出しているところもございます。 |
| 1:43:44 | そういった各場所での |
| 1:43:48 | 影響というのもちよっと踏まえまして、今ちよっとこれは一度持ち帰らせていただきまして、改めて当社の方針、位置付け等をご説明させていただけたらと思います。以上です。 |
| 1:44:00 | 規制庁の江崎ですよろしくお願いいたします。私が出してる以前のコメントは、とりあえず一貫し、終わらせて、新たにコメントを。 |
| 1:44:11 | 私、今のコメントと、その前のさ、わかんだけ。 |
| 1:44:15 | 採石でしたっけ。佐田木曾に対してのコメントを新たに起こしたいと思います。よろしいですか。 |
| 1:44:27 | はい。中央区の臼田です。はい。承知いたしました。あと砂礫相当stageのコメントにつきましては |
| 1:44:36 | ちよっとこれを、2 着目昨年度というのはございませんで等は、我々としては 48 番、一番 48 番で 7 ページ目。 |
| 1:44:48 | す。 |
| 1:44:50 | 設置変更許可申請書に記載されてない物性値につきまして、その資料の最終 1 だったり、試験結果だったり、分限値の妥当性だったりそういったところの、 |
| 1:45:02 | ご説明することということでその一環で今回、 |
| 1:45:06 | 拡充して参りました。 |
| 1:45:08 | 実はここに書いて受け渡し出したコメントなんです、コンピュータ。 |
| 1:45:12 | 根拠等で終わってるので、整理って言うので、妥当性まで書いてないので、 |
| 1:45:18 | 一旦そう。 |
| 1:45:19 | その根拠は示されたと。 |
| 1:45:21 | だけでも、その妥当性について、新たにコメントを出したという位置付けにしたいと思いますが、よろしいですか。 |
| 1:45:30 | はい。中国電力ヨシツグでございます。了解いたしました。 |
| 1:45:36 | これね。うん。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:45:39 | もう1個最後あるんですが、さっき最初も言いましたけど木曾STACYとか加来ですね制度もそうなんですけど、 |
| 1:45:47 | 砂れき層でそれぞれ、 |
| 1:45:50 | 総限られた、限定された。 |
| 1:45:54 | はいで、 |
| 1:45:55 | 設計してると思うんですよねこれがあるって、それをちょっと明確にしてもらえませんか。 |
| 1:46:00 | ていうのはいろいろと、 |
| 1:46:03 | 実際に直接試験してるもの、してないものあるんですが、燃焼度はどっちかって試験してますんで、そうでもないんですけど、佐伯層と、この |
| 1:46:15 | 今、どう整理するかってありますが基礎ステージ、 |
| 1:46:17 | ていうのは、多分、 |
| 1:46:19 | 限定条件つきで使えるものになってると思うんですね。これはある程度明確にしていきたいのは、 |
| 1:46:26 | 後続の、 |
| 1:46:29 | 発電所が申請したときに、あまり、 |
| 1:46:33 | ここの資料見当初見て考え違いしないように、 |
| 1:46:37 | ということを考えてまして、できたらここはちょっと丁寧、そこだけですね丁寧に書いていただければと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 1:46:45 | はい。中国電力ヨシツグでございます。先ほどありました。 |
| 1:46:50 | 位置関係だったりとかそういったことでこういった物性値が使えるんだと、そういったところがわかるような、ちょっと使い方もしくは |
| 1:47:00 | 位置付け、そういったところをもう少し詳しく記載してそれで使用するんであれば使用するということで明確化していきたいと思います。以上です。よろしく申し上げます。 |
| 1:47:11 | ほかに何かコメントある人。 |
| 1:47:17 | 規制庁木田です。すいません 154 ページで先ほど、今ほどエザキの話もあったんですけど、この通りの |
| 1:47:26 | 実績については独自に解釈されたと、ということなんですけど、ちょっとですね津波防護施設である貯留堰の注意っていうのがですねちょっと正確ではないかなというふうに思っております、 |
| 1:47:39 | 防波壁の安保駅でなくて貯留堰の外側にですね、止め鋼管矢板があって、これは多分記憶ですと波及的影響して |
| 1:47:51 | 鳥居駅への波及的影響施設になっていて、そのそれに接するというかその中にあるということなのでちょっと誤解を |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:48:01 | 招くかもしれないのでその辺はちょっと正確に書いていただければというふうに思いますので、よろしく願います。 |
| 1:48:10 | 中国電力三澤です。はい。大変失礼いたしました。こちらですね改めてちょっとそういった波及影響という観点からも少し資料確認させていただいて、 |
| 1:48:19 | 正確に記載をしたいと思います。ありがとうございました。 |
| 1:48:26 | 規制庁の服部です。 |
| 1:48:28 | 少し確認ですけど、今のコメント番号 48 に係る |
| 1:48:33 | 参考資料の説明は以上でよろしいのでしょうか。まだ。 |
| 1:48:38 | 参考資料ありますけど、 |
| 1:48:41 | 説明としては終わりですよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 1:48:46 | はい。中国に会さずです。はい。こちらにつきましては、 |
| 1:48:52 | そうですね、ちょっとまだ |
| 1:48:55 | 実はといますか。 |
| 1:48:57 | 後の資料も、も含めていろいろ確認して参りましたので、そこも含めて今回ちょっとご説明させていただけたらと思っております。規制庁の羽鳥須江と 48 に関わる説明はまだ続くという理解でよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 1:49:14 | はい。城君電力です。はい。 |
| 1:49:17 | おっしゃる、ご指摘の、 |
| 1:49:18 | おっしゃる通りでございます。 |
| 1:49:21 | 規制庁の服部です本当にそれでよろしいですか。どうぞ。 |
| 1:49:29 | 17 番。 |
| 1:49:40 | すいません、とあと |
| 1:49:43 | 女性部です。あとですね、ちょっとサイショ参考資料 14、 |
| 1:49:48 | 堆積に係るところ、こちらもちょうとモリモト、後程説明させていただきますがちょっと文献から、 |
| 1:49:54 | 設定していたというところで今回ちょっと、 |
| 1:49:56 | 見直しましたのでそういったところ、ここまでを、参考資料ナンバー40、 |
| 1:50:05 | 8 の説明範囲とさせていただけたらと思えます。 |
| 1:50:10 | 規制庁のハットリですはい。わかりました続きがあるということでしたら引き続き説明の方お願いしたいと思います。なければ次に行こうかと思っただんですけど 48 番に係る説明を引き続きお願いしますどうぞ。 |
| 1:50:27 | はい。すいません中国電力の伊澤です。 |
| 1:50:30 | はい。続きまして参考重油 5 歳、12、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:50:38 | 参考資料 12 から説明させていただいてもよろしいでしょうか。 |
| 1:50:43 | 規制庁のハットリつどうぞ |
| 1:50:46 | その点についてはお任せしますので、 |
| 1:50:50 | ただ参考資料の番号ごとに 1 回止めて確認をするというのは引き続き、 お願いしたいと思います。お願いします。どうぞ。 |
| 1:51:00 | はい。中国電力の澤です。はい、ありがとうございます。続きまして一番 の資料、ナンバー30、 |
| 1:51:07 | 9、お願いいたします。6 ページ目になります。 |
| 1:51:12 | はい。39 につきましてちょっとハットリですすみません |
| 1:51:16 | ナンバー48 に関わるコメン説明は終わったのかということを確認してい て、まだ続くということだったので、それでは 48 に係るコメントとして引き 続きお願いしますというふうに、 |
| 1:51:28 | 説明したんですけれどもいかがでしょうかどうぞ。 |
| 1:51:31 | はい。中国電力諏訪です。はい。大変失礼いたしました。それでは今は 48、 |
| 1:51:37 | 引っかかる場所の説明としまして参考資料 14 の説明をさせていただきます。 |
| 1:51:43 | はい。 |
| 1:51:45 | 5 ページ、2 番の資料でいきますと |
| 1:51:48 | 364 ページお願いいたします。 |
| 1:51:55 | 364 ページです。エース三光町 14 歳セキの解析を物性値といたしまし て、島根原子力発電所におきましては、江藤取水管の主に砕石を使用 しております。 |
| 1:52:07 | 前回までのご説明では |
| 1:52:11 | こちらの案件資料の中でこういった砕石のようなれき材を対象とした |
| 1:52:17 | 仕切られている文献、こちらをもとに物性値を設定しておりました。 |
| 1:52:22 | ちょっと前は、コメントを踏まえまして、この砕石につきましても |
| 1:52:29 | 新しくマツイ試験を実施いたしましてそれをもって物性値を設定する方 針といたしましたので、その間瀬、 |
| 1:52:36 | 背設定方針試験方針といったところをご説明させていただけたらと思い ます。 |
| 1:52:45 | 365 ページお願いいたします。 |
| 1:52:48 | 最セキの解析用物性値の設定ということで設定方針、は室内試験の試 験結果を踏まえて設定することといたしました。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:52:56 | 試験方法というところで資料につきましては取水監視をされた際セイキと同じ産地の解析を募集しまして粒径につきましては、取水管底部の戻しに用いた粒径 5 から 25、採用しました。 |
| 1:53:13 | (1)密度試験といたしましては |
| 1:53:16 | 今回袖音を麦するということで、図のように水中緑化させたような密度試験を実施いたしました。 |
| 1:53:24 | また、 |
| 1:53:26 | 366 ページ。 |
| 1:53:28 | 動的変形特性といたしましては繰り返し 3 軸試験を実施するということで業者の作成につきましては、 |
| 1:53:35 | A層粒度の 3 軸試験業者作成方法、JCSLを 30、これに準じまして、 |
| 1:53:41 | 写真のような、凍結した供試体というものを作成してこちらで、 |
| 1:53:46 | 繰り返し 3 軸試験を実施いたしました。 |
| 1:53:49 | 試験結果が表 2-2 のようになっております。 |
| 1:53:54 | こちらで出場密度動作が清潔を示しております |
| 1:54:00 | 367 ページ。 |
| 1:54:02 | こちらでGy0 γ 、h γ の泉ゾーンと結果をお示しております。 |
| 1:54:09 | 図の 2-3 において、少し赤、点線で囲ってる範囲がございます。 |
| 1:54:15 | 少し初期の段階で |
| 1:54:17 | 落ちていてそれから、 |
| 1:54:20 | ディーゼルが上がっていくようなそんな挙動が見えております。 |
| 1:54:23 | こちらにつきましては雑賀書記、やはり碎石というところ、材料でございますので、 |
| 1:54:29 | その辺、ペDESTALと、業者さん面、 |
| 1:54:35 | 最初、少しガタガタというところで、馴染みの影響で少し見かけ低くなりました。そしてそこが |
| 1:54:41 | 収まって適切な試験挙動になっているというふうに考えております。 |
| 1:54:49 | 368 ページをお願いいたします。 |
| 1:54:53 | 解析用物性値の設定方針といたしまして |
| 1:54:58 | 密度に近い密度試験の結果、 |
| 1:55:01 | 同せん断弾性係数につきましては、及び動的変形特性につきましては繰り返し 3 軸試験の結果を踏まえて設定いたしました。 |
| 1:55:08 | ポアソン比につきましては慣用値R0.45 というものを設定しております。 |
| 1:55:13 | 2 ポツの解析用物性値の設定というところで密度につきましては室内試験で確認した。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:55:20 | 密度 1.56 というものを採用いたしました。 |
| 1:55:25 | そしてスエナガセイキケースD0 というところが、平均値が 6 万 7600。 |
| 1:55:31 | そして標準偏差 σ につきましては、 |
| 1:55:34 | 900 ということで、1%2%そんなわずかな値となっていたというところでほとんどばらつきがないというふうに判断しました。 |
| 1:55:42 | そして碎石の動せん断弾性係数というところにつきましては、 |
| 1:55:47 | 平均値である 6 万 7600、こういった値を使うと。 |
| 1:55:51 | 考えております。 |
| 1:55:53 | はい。動的変形特性につきましては修正GHモデルで設定をいたしまして |
| 1:55:59 | 369 ページ。 |
| 1:56:00 | の通り、 |
| 1:56:02 | 試験結果と概ねフィッティングするような、動的変形特性を設定するというところで、なっております。 |
| 1:56:10 | こちらを踏まえまして 370 ページに示すような解析用物性値を今回新たに設定して参りました。 |
| 1:56:19 | そして 300、 |
| 1:56:22 | はい。 |
| 1:56:23 | ちょっとここ |
| 1:56:26 | というところございまして、 |
| 1:56:30 | 371 ページから、もともと |
| 1:56:34 | 御説明に使っていた講義研修をこちらは中で、いろんな |
| 1:56:40 | 採石場文献の資料と比較されて整理されている結果がございました。 |
| 1:56:47 | ちょっとこちらをもって今回の試験結果の |
| 1:56:51 | 妥当性そういったものをちょっと確認して参りました。 |
| 1:56:55 | こちらにつきましては |
| 1:56:59 | 次のページに少し見ていただきますと、100、372 ページになります。 |
| 1:57:05 | 図の 3-1。 |
| 1:57:07 | 案件資料につきましては図の 3-1 に示す。 |
| 1:57:11 | 青線、田中ほか、40 度というそんな先でございしますがこれよりも大きい粒径材料につきましては、 |
| 1:57:19 | 柔軟性係数が大きくなるということが示されております。 |
| 1:57:24 | 今回取水管の最盛期につきましては、鑑定分 5 から 20 ミリ、そして受 |
| 1:57:31 | ウエダ荷受 2980 ミリというところで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:57:34 | 20 から 80 名の方がそういったところが 1000 名清潔が大きくなるということが想定されます。 |
| 1:57:40 | ですので今回後から 20 ミリの |
| 1:57:43 | 碎石で室内試験結果から物性値を設定するということは、 |
| 1:57:47 | 保守的な設定になっているというふうに判断いたしました。 |
| 1:57:51 | また |
| 1:57:52 | 373 ページお願いいたします。 |
| 1:57:56 | こちらで |
| 1:57:58 | 他の文献に示された |
| 1:58:00 | D0 求める仕組み、 |
| 1:58:02 | の値があります。 |
| 1:58:05 | これ、 |
| 1:58:06 | 申し訳ありません。床ちいらしじゃなくて 372。 |
| 1:58:11 | 1 ページ。 |
| 1:58:14 | になります、碎石等のせん断弾性係数G0 につきましてはこういった式で表されるということで、 |
| 1:58:21 | 372 ページ、 |
| 1:58:24 | 表 3-1 で、その各文献におけるその定数ABが記載されております。 |
| 1:58:30 | これらをもって衛藤。 |
| 1:58:33 | 373 ページに記載されているように、 |
| 1:58:37 | 各文献のHイデの値というところを記載しました。 |
| 1:58:41 | と、今回の試験結果赤丸ですが、比較したところ |
| 1:58:46 | 整合してるところが確認をいたしました。 |
| 1:58:55 | で補足資料といたしまして 374 ページから公安研修の概要というところを記載させております。いただいております。こちらちょっと割愛させていただきます、 |
| 1:59:11 | 少し、もうなあと。 |
| 1:59:14 | 別のコメントが、採石の方でいただいておりますが、ちょっとそこについては 1 回、 |
| 1:59:21 | 後で説明させていただくことにさせていただきます今このところで、 |
| 1:59:26 | いたし説明を終わらせていただきたいと思います。 |
| 1:59:31 | 規制庁のハトリつはい、ありがとうございますそれでは参考資料 14 について確認する点がある方お願いします。 |
| 1:59:39 | よろしいですかね。 |
| 1:59:41 | 試験に基づいてつか物性値を設定しているということで確認をしました。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:59:47 | 引き続き 48 に関わる、 |
| 1:59:50 | 説明でまだ続きますか。 |
| 1:59:53 | それとも一旦終わりにして、 |
| 1:59:55 | その今の次のものに行きますかと、どうしますかどうぞ。 |
| 2:00:00 | はい。中国ですはい。こちら、今後、48 番の方につきましては、こちらは以上とさせていただけたらと思います。 |
| 2:00:08 | はい規制庁の服部ですわかりました。また何かあれば引き続き新規のコメント説明として後で説明していただければと思いますので、とりあえず 48 番については以上としたいと思います。 |
| 2:00:19 | 先ほど江崎の方からありましたように、48 番のコメントについては、一旦これは了として、新たなコメントとして先ほどいろいろと話が出ましたので、それは新規のコメントとして起こしていただくようによる。よろしくお願いいたします。 |
| 2:00:33 | それでは次お願いします。どうぞ。 |
| 2:00:36 | 規制庁の服部ですすみません、かなり長くなりましたので一旦ここで休憩をしたいと思います。 |
| 2:00:46 | 16 時過ぎですね 16 時、5 分。 |
| 2:00:52 | 16 時 5 分にしますかね。 |
| 2:00:54 | 16 時 5 分まで休憩をしたいと思います。それでは一旦録音を停止します。どうぞ。 |
| 2:01:04 | 規制庁の服部です。 |
| 2:01:06 | それでは、 |
| 2:01:08 | 島根 2 号機、設工認のヒアリングについて再開をいたします。 |
| 2:01:12 | では引き続き、説明をお願いします。どうぞ。 |
| 2:01:18 | はい。中国電力の伊佐です。それではまた、再開させていただきます。 |
| 2:01:23 | 参考資料 14 に関するコメントといたしまして |
| 2:01:27 | 一番の資料でナンバー41、 |
| 2:01:29 | 7 ページ目お願いいたします。 |
| 2:01:34 | はい。 |
| 2:01:35 | 碎石の物性値のばらつきの影響についてというところでございまして、 |
| 2:01:41 | こちら先ほどご説明させていただいた、 |
| 2:01:43 | が該当となっております、 |
| 2:01:45 | もともと前回まで案件使用でご説明させていただいておりましたが、今回改めて試験を実施するというところでこちらで解析を水を設定しました。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:01:56 | その結果村道せん断弾性係数のばらつきというのはほとんどないというところを確認いたしました。 |
| 2:02:01 | 2 番の資料でいきますと 300、 |
| 2:02:08 | 68 ページ。 |
| 2:02:10 | うん。 |
| 2:02:11 | になります。 |
| 2:02:13 | 2、 |
| 2:02:15 | 2 ポツ後の(2)の記載となっております。説明は以上となります。 |
| 2:02:23 | 規制庁の服部ですすいません今は 41 番だったですからどうぞ。 |
| 2:02:29 | もう一度ちょっとすいません追いつかなかったので、もう一度少しゆっくりしお願いしますどうぞ 38068 ページ、すいませんお願いします。 |
| 2:02:40 | 編成し、いたしました、中国電力イソダです。 |
| 2:02:43 | 衛藤 368 ページお願いいたします。 |
| 2:02:48 | 41 番のコメントといたしましてはその採石のばらつきについて検討することというところで今回、 |
| 2:02:58 | 解析を対象として実験を試験をいたしまして |
| 2:03:03 | その物性のばらつきというのはほとんどないというところを確認いたしました。 |
| 2:03:08 | はい。 |
| 2:03:12 | はい、おっしゃる通りでございます。 |
| 2:03:15 | こちらでこちらが該当となっております。以上です。 |
| 2:03:20 | 規制庁の服部です。それでは臼田の説明に対して確認する点があればお願いします。 |
| 2:03:28 | 規制庁の江崎です。 |
| 2:03:30 | 基本的な知見を行ってそれほど大きなばらつきがないと、設計に反映する方のばらつきはないということで理解しました。 |
| 2:03:42 | 規制庁の服部です。では次お願いしますどうぞ。 |
| 2:03:47 | はい。15 ページカナダです。ありがとうございます。続きまして一番の資料で言いますと、ナンバー45、同じく 7 ページ目になります。 |
| 2:03:57 | 45 です。最セキの設定において引用した文献における、有限要素解析の詳細について説明すること。 |
| 2:04:05 | といたしまして |
| 2:04:07 | 2 番の資料、381 ページをお願いいたします。 |
| 2:04:14 | はい。381 ページです。こちら補足 2 というところで、案件資料の地震応答計算における解析状況の確認というところで |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:04:25 | 今期禁止用では新 |
| 2:04:27 | やられている振動実験、この結果を踏まえまして地震応答計算も踏まえて、そのせん断弾性係数、減衰定数のひずみの特性を設定、推定されております。 |
| 2:04:38 | この地震応答計算の詳細な解析条件が記載されていないというところで、ここ確認するよう |
| 2:04:46 | ご指摘をいただきました。 |
| 2:04:48 | 実際こちらについてこの資料、 |
| 2:04:52 | 2文字、記載はないというところ。 |
| 2:04:54 | またちょっと、この県さんの方にも少し、 |
| 2:04:58 | 聞き取り等も実施いたしましたが |
| 2:05:02 | 当時やられた方もおられないというところもあって、 |
| 2:05:05 | 推定というところがございます。今回 |
| 2:05:09 | こちらにつきましては、この地震動計算を、 |
| 2:05:12 | 推定するために、再現解析を実施いたしました。 |
| 2:05:16 | 再現解析に用いる効果セキ5としてTラップを使いまして、江藤公安技研資料。 |
| 2:05:23 | に示されている有限要素モデル、こちらに倣いまして、図1のようなモデルを作成いたしました。 |
| 2:05:30 | そして境界条件といたしましては、 |
| 2:05:33 | ちょっと記載されていないので、 |
| 2:05:35 | 今回、公安研修さんで実施されている実験、 |
| 2:05:40 | これを踏まえて |
| 2:05:42 | 定底盤を固定条件。 |
| 2:05:45 | また改善方法。 |
| 2:05:46 | を拘束するとそういった条件で解析いたしました。 |
| 2:05:51 | そして対象といたしましては工認資料で、いくつかの材料、対象とされてますが、1号砕石と呼ばれる材料で代表として、 |
| 2:06:01 | 再現解析を実施いたしました。 |
| 2:06:04 | そして |
| 2:06:07 | 今日、 |
| 2:06:08 | 1に示される。 |
| 2:06:10 | 制限はこれを水平方向にかけまして、また |
| 2:06:14 | 採石の物性値といたしましては、こちらの方の意見資料に機械記載されている表に示される値、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:06:22 | というのがありました。また、ちょっと表 3 で、これの旭から |
| 2:06:30 | ひずみ依存特性を考慮した物性値というところで、表 2 に関しましては線形解析詳細については非線形解析、そんな |
| 2:06:38 | 2 種類の再現解析を実施しております。 |
| 2:06:42 | その結果、383 ページになりますが、 |
| 2:06:47 | こちら、図に示します通り、こちらは一応碎石の |
| 2:06:52 | 公認現象における沈下量となっております。そして、そこに赤ポツ、 |
| 2:06:59 | 線形解析で確認された沈下量をして、 |
| 2:07:02 | 青ポツ、非線形解析で確認した沈下量というところ。 |
| 2:07:06 | 同じようにプロットしております、概ね |
| 2:07:09 | 線型線形とも 200 ガルまでは、 |
| 2:07:12 | 整合していると、そして 300 万になってくると。 |
| 2:07:16 | 非線形の方はよく整合してるというところへられました。 |
| 2:07:19 | こういったところで、 |
| 2:07:20 | 今回実施した再現解析で設定した、解析条件と考案研修にされている使用同計算解析条件、 |
| 2:07:31 | 概ね同等であるというふうに判断をいたしました。 |
| 2:07:35 | はい。以上となります。 |
| 2:07:38 | 規制庁の服部です。ではただいまの説明に対して確認する点があればお願いしますどうぞ。 |
| 2:07:46 | 規制庁の三浦です。これもタニグチヤダの、 |
| 2:07:50 | 指摘だったというふうに思うんですが、タニグチの方からは、 |
| 2:07:53 | 齊木に関して聞いて、 |
| 2:07:55 | 実験場の沈下量を概ね模擬できるということがあったので、妥当性の確認をしましたと、いうことを返事してもらってますんで、了解です。はい。次お願いします。 |
| 2:08:08 | 中部電力伊佐ですありがとうございます。 |
| 2:08:11 | では参考資料 14 は以上となりまして、ちょっと戻ります参考資料 12 となります。 |
| 2:08:16 | 一番後ろで言いますと、ナンバー39。 |
| 2:08:21 | 6 ページ目の下から 2 行目お願いいたします。 |
| 2:08:28 | ナンバー39。 |
| 2:08:30 | です。 |
| 2:08:34 | 今回 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:08:36 | 島根原子力発電所評価につきましては簡易設定法における液状化強度を設定すると。 |
| 2:08:42 | いうところで当然液状化強度試験の結果としては、そういった液状化を示さない非液状化だったり、サイクリックモビリティ、そういった状況となっている。 |
| 2:08:52 | ございます。 |
| 2:08:54 | 今回我々が設定するイケダ強度、こちらでこういった状況にあるかというところを説明するよう、 |
| 2:09:02 | コメントいただきましたので |
| 2:09:06 | 2 番の資料で 85 ページお願いいたします。 |
| 2:09:20 | はい。85 ページになります。 |
| 2:09:23 | 衛藤。 |
| 2:09:25 | 下から 3 行目になります。また、簡易設定法による液状化強度特性を設定した埋戻動及び砂礫は、 |
| 2:09:32 | 液状化強度試験を模擬する要素シミュレーションにより液状化することを確認したというふうに記載させていただきました。 |
| 2:09:39 | その詳細につきましては参考 12 ということで |
| 2:09:44 | 250 ページお願いいたします。 |
| 2:09:54 | はい。250 ページになります。 |
| 2:09:58 | 3 ポツ、簡易設定比較した液状教材ボックス |
| 2:10:03 | 制における競争シミュレーション結果というところで、 |
| 2:10:06 | こちら、図 3-1 のように示すように液状化強度を用いまして要素シミュレーションを実施いたしました。その結果が 251 ページになります。 |
| 2:10:18 | 上に埋戻し堂下に佐伯層を書いております。 |
| 2:10:22 | こちらも例えば、右上の、 |
| 2:10:25 | せん断ひずみでいきますとひずみが急速に大きくなっているというところ。 |
| 2:10:29 | また、比右下の図でいきますと、過剰間隙水圧が早い段階で、ほぼ 1 に達しているというところ。 |
| 2:10:36 | また |
| 2:10:38 | 2、左下、 |
| 2:10:40 | になります、有効力も 0 となって基準化が発生していると。 |
| 2:10:44 | そういったところで今回、簡易設定を設定している液状化強度では、そういう液状化が |
| 2:10:51 | 動きできるようなパラメーターとなっているというところ。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:10:56 | が |
| 2:10:57 | の説明となります。以上、以上です。 |
| 2:11:01 | 規制庁のハットリそれではただいまの説明に対して確認する点があればお願いしますどうぞ。 |
| 2:11:08 | 規制庁の江崎です。これは多分私のコメントんになっていて、基本的にはこの、 |
| 2:11:16 | 要素シミュレーション結果で、いわゆる、 |
| 2:11:20 | N値でかい評価で決めているものに対して納付を評価に関して示して欲しいということで過剰間隙水圧比、 |
| 2:11:30 | を示して欲しいっていう二つの話で指摘していただきます。それは一応記載されて、 |
| 2:11:37 | 安全側の評価、いわゆる液状化しやすい。 |
| 2:11:41 | 物性値になってるっていうのが理解できましたのでこれで結構です。 |
| 2:11:49 | 規制庁の服部です。では次お願いしますどうぞ。 |
| 2:13:23 | 中国電力の本社ナイトウです。音声届いておりませんが、 |
| 2:13:29 | 何か、 |
| 2:13:31 | 規制庁のハットリです。吉国とかでしょうか。 |
| 2:13:35 | 中国電力本社の方で、 |
| 2:13:40 | 規制庁のハットリですこちらのスイッチが入ってなかったみたいですがどうもすみませんでした。もう一度説明をお願いしますどうぞ。 |
| 2:13:47 | はい。中国の小磯です。大変失礼いたしました。 |
| 2:13:51 | 一番の資料をまたNo.40、 |
| 2:13:54 | の方となります。埋め戻しの物性時につきまして市ばらつきの考え方を説明することというところでございます。 |
| 2:14:03 | まとめ資料、2番の資料で言いますと、388ページお願いいたします。 |
| 2:14:13 | 前回埋戻動につきましてばらつきが、他のものに比べて小さいというところでその理由を説明することというコメントをいただきました。 |
| 2:14:22 | 388ページの表1-3を見ていただきますと変動係数というのを今回追記いたしまして、D級岩盤では23.6%、 |
| 2:14:33 | また次のページ389ページは埋め戻しでいくと3.6%。 |
| 2:14:38 | 少しページが飛んで391ページになりますと旧表土になりまして、こちらは15.8%というところで、 |
| 2:14:45 | 有江。 |
| 2:14:48 | こちらにつきましては、ちょっとやはりオチの方がばらつきが小さいという状況となっております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:14:53 | その理由といたしまして、390 ページお願いいたします。 |
| 2:15:00 | はい。2 級岩盤 9 含めまして、埋戻動につきましては十分に締固めて施工されているというところで、このばらつきが小さくなったというふうに考えております。 |
| 2:15:10 | こちら図にお示しておりますのは、設置許可段階において |
| 2:15:14 | 埋戻しの間施工方法というところをお示しております、まず、 |
| 2:15:19 | 十分な締固めエネルギーとかそういったものを規定した上で、実施しているというところで、 |
| 2:15:25 | ばらつきが少ないという状況になっております。 |
| 2:15:31 | 施設の矢崎です。基本的には理解できるんですけど、 |
| 2:15:36 | 説明としてはもう少しあれかなと。いわゆるあれですよね施工管理基準。 |
| 2:15:41 | を決めて、 |
| 2:15:43 | きちっと、 |
| 2:15:45 | 管理されて、 |
| 2:15:46 | ある一定程度ばらつきがない。 |
| 2:15:49 | 程度まで締固めてるっていう話ですよ。 |
| 2:15:52 | それがもうちょっとわかるように、 |
| 2:15:55 | 適正化できますか。 |
| 2:15:59 | はい。中国電力のユリですね、今おっしゃった通りでございまして、 |
| 2:16:04 | 具体的にはこの図の中にちょっとわかりにくいんですが、乾燥密度って記載がございまして、 |
| 2:16:09 | この密度を指標にして十分締め固められているように現地施工を行っておりますので、そういったことが文章中もわかるように記載を充実したいと思います。以上です。 |
| 2:16:21 | その辺ですね多分。ただ、6 回啓発してそれで終わってるわけじゃなくてちゃんと、 |
| 2:16:26 | うん。 |
| 2:16:27 | 計測、測定しながら、 |
| 2:16:30 | 施工管理を行って、当然あれですよ。たり手だけはもう 1 回啓発するとか、されてるんだと思いますが、違いますか。 |
| 2:16:45 | あ、はい、中国電力李です。 |
| 2:16:47 | 衛藤、こちらの試験施工の方で、乾燥密度を満足できるような転圧回数十分な提案回数を確認した上で、現地で |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:16:57 | その提案扱い性というもので一律施工しているものでございます。以上です。多分府これ現場施工で試験値を決めているんだけど、 |
| 2:17:08 | 現実的にもばらつきがないと、現施工でも、 |
| 2:17:13 | 実際の施工でもない。 |
| 2:17:17 | 言っているのかなと。 |
| 2:17:20 | いえるのかどうかということを知っているんですけど。はい。中国電力のヨシツグでございます成功時にも品質管理として密度試験を、 |
| 2:17:30 | 行っております。 |
| 2:17:32 | で、それと相関を、実際の施工試験やった時のものとどうかということと、あとは実際の締固め度をちょっと現地でも確認をしております、 |
| 2:17:44 | そういったところで試験で決めた施工管理上できているかというのを確認しております。以上でございます。 |
| 2:17:51 | 規制庁エザキでその辺理解しましたがその辺もですね。 |
| 2:17:56 | いわゆる試験施工っていうのをがっちりし、やっていたとしても、現実、設計するのは、 |
| 2:18:03 | 使うものはわかりません |
| 2:18:06 | を、現場施工試験っていうか施工試験で獲られたものを使うんだけど、 |
| 2:18:11 | 現実に、 |
| 2:18:12 | 設計する対象のものも同一だよっていう、 |
| 2:18:18 | 言えないと、ちょっとそれを十分説明したことになっていないと思いますんで、もうちょっとその辺はですね今、 |
| 2:18:24 | 吉尾さんがお話されたことも踏まえて、 |
| 2:18:28 | 記載の充実していただけないでしょうか。 |
| 2:18:35 | はい。中部電力李です。承知いたしました。記載の充実化を図りたいと思います。以上です。 |
| 2:18:46 | はい。 |
| 2:18:47 | 基本的にはですね、 |
| 2:18:49 | 基本の適正化だけなんで、 |
| 2:18:53 | その適正化を図った段階で一応了としたいと思います。以上です。 |
| 2:19:03 | 規制庁のハツリです。少し規制側に確認しますが、これは、ばらつきの考え方を説明することというのは、説明が不足していることなのでこのコメントの継続として対応して、 |
| 2:19:17 | もらうということでもよろしいでしょうか。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:19:20 | はい。わかりました。それでいいということなので、ではこれについては継続という形で対応をお願いしたいと思います。では次お願いしますどうぞ。 |
| 2:19:32 | はい、中国電力の笹です。 |
| 2:19:34 | 続きまして一番の資料でNo.99。 |
| 2:19:40 | 11 ページの下から 4 行目になります。 |
| 2:19:43 | こちら |
| 2:19:46 | 地盤物性のばらつきを設定する上での標本数評価×寄贈を説明することというところで、 |
| 2:19:51 | あと岩盤における物性値のばらつきの根拠というところをご説明するようコメントをいただきました。 |
| 2:19:57 | 比 99 ページ、99 番、一番資料の 11 ページになります。 |
| 2:20:03 | 99 番です。 |
| 2:20:05 | 2 番の資料でいきますと 395、お願いいたします。 |
| 2:20:20 | すいません、ちょっとまた少しページが戻りまして 384 ところで |
| 2:20:28 | こちらで岩盤のばらつきを示し、お示しさせていただいてます 384385386 ページ。 |
| 2:20:35 | これらのばらつきの根拠といたしまして、 |
| 2:20:40 | 300、 |
| 2:20:42 | 95 ページになります。補足 1、岩盤における技術検査結果の詳細についてというところを新しく付けて参りました。 |
| 2:20:51 | 今回岩盤につきましては原子炉建物のボーリング孔におきまして、 |
| 2:20:57 | におけるPS検層、 |
| 2:20:59 | から 3、ばらつきを算定しております。 |
| 2:21:02 | 確保におけるPS検査の結果というものをその 396 ページから、 |
| 2:21:09 | 載せておりまして、その結果を、100、 |
| 2:21:12 | 整理したものが 398 ページになります。 |
| 2:21:15 | こういったところで |
| 2:21:19 | 各ボーリング孔の平均値で表示されてそういったものを持って速度早期決めているということとなります。 |
| 2:21:28 | 説明は以上となります。 |
| 2:21:31 | 規制庁の服部です。はい。これはですねばらつきの標準偏差変動係数のこの数値の根拠ですね、これを示してくださいということで、確認をしたところでございます。 |
| 2:21:42 | ちょっと 1 点だけ確認させてください 399 ページお願いします。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:21:48 | 震度ごとのS波速度の平均値というのが、実測の値だと思いますが、速度層ごとに策定したS波速度、 |
| 2:21:59 | に換算してるというか、変換してるというか、にしていますけれども、これ数字が違っているというのは、どのような形で |
| 2:22:10 | 設定したのか説明してくださいどうぞ。 |
| 2:22:17 | 規制庁の服部です私が想定したのは、 |
| 2:22:21 | 観測値は 0.28 で、実際に速度層ごとに設定するS波速度というのは、0.05 で切りを切り下げて、 |
| 2:22:32 | 丸めて設定したのかなというふうに思ったんですけれども、それが正しいかどうかということなんですがいかがでしょうかどうぞ。 |
| 2:22:41 | 中国電力の志水です。はい。おっしゃられる通りでございます |
| 2:22:47 | 0.05 刻みでまとめているということでございます。以上です。 |
| 2:22:53 | 規制庁の八田ですはいわかりました。ではエビデンスをきちんと示していただいたので |
| 2:23:01 | 99 番については了といたします。では次お願いいたしますどうぞ。 |
| 2:23:08 | はい。ありがとうございます。中国電力の伊佐です。 |
| 2:23:11 | 続きまして一番資料で言いますと、ナンバー |
| 2:23:15 | 4 となります。 |
| 2:23:18 | 江藤 3 ページ目となります。 |
| 2:23:22 | その入力地震の策定におきましては 2 種類の地下構造モデルを設定しているというところで、それぞれの適用区域、またその根拠というのを説明すること。 |
| 2:23:32 | という見込みをいただきました。 |
| 2:23:34 | こちらにつきましては |
| 2:23:38 | 4、A2 判の資料で 400 ページお願いいたします。 |
| 2:23:53 | 2 万 400 ページにあります参考資料 16、 |
| 2:23:57 | 入力地震の設定の近くほどのエリア区分についてというところでございます。 |
| 2:24:05 | はい。こちらまず、2 |
| 2:24:08 | 島根現職発電所における各施設の配置図をお示しております。 |
| 2:24:13 | 島根現職発電所の敷地につきましては、12 号機が位置するエリアと、3 号機位置するエリア、それぞれ区分をして、ボーリング調査を行っておりまして、そのセキ入力時の設定につきましては、 |
| 2:24:26 | こちらのそれぞれのエリアの地下構造モデルの物性を用いるというふうと考えております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:24:35 | それぞれのエリアにおける地質、実質、実質構造、地下構造モデルをご説明させていただきたいと思っております。 |
| 2:24:44 | 2 ページ目お願いいたします。401 ページです。 |
| 2:24:50 | 島根原子力発電所の敷地につきましては、こういった括弧でございます、 |
| 2:24:56 | ほぼ、 |
| 2:24:59 | 藤旭。 |
| 2:25:01 | しかし、実は新第三期中新世の再生原価のある上層児相は乳癌類、それを水堆積物が構成されると。 |
| 2:25:11 | いうことで |
| 2:25:15 | 敷地の南部にはほぼ東西方向の軸を持つ背斜構造が認められ敷地地盤を構成する要素は北 213 が 30° 傾斜してるという、 |
| 2:25:24 | このとなっております。 |
| 2:25:26 | そして 402 ページ以降になりますが速度層断面図といたしまして設置許可でもお示ししておりますが、 |
| 2:25:33 | 12 号機が位置するエリアの倒産を検知するエリアの、 |
| 2:25:38 | ものをお示ししております。 |
| 2:25:41 | こちら見ていただきますと、403 ページになりますが、南北断面、 |
| 2:25:46 | 12 号系 SGTS エリアの速度層断面図、南北と東西、 |
| 2:25:51 | またその次のページ 300、404 ページに、3 号機エリアの |
| 2:25:57 | 速度層断面図、南北東西、 |
| 2:26:00 | そしてその根拠とした、PS 検層の位置図というところを 405 ページにお示ししております。 |
| 2:26:07 | また、406 ページ以降に、岩級岩相の区分図を示しております、 |
| 2:26:17 | 2 億と 3 号機のところにつきましてはほぼ |
| 2:26:21 | 水平な構造であるというところが、 |
| 2:26:24 | 先ほどご説明させていただいております。 |
| 2:26:27 | そして 410 ページになりますが、各々のエリアにつきましては、先ほどの速度層断面を踏まえまして、 |
| 2:26:35 | の結果を踏まえまして、 |
| 2:26:38 | 表 3-1 表 3-2 に示すような地下構造モデルを設定しております。 |
| 2:26:43 | そしてこのモデルを適用する施設、施設といたしまして 411 ページ、お願いいたします。 |
| 2:26:55 | これにつきまして赤色のところが、んで明記しているところが 12 号エリアの |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:27:03 | 地下構造を用いる設備、また、青井。 |
| 2:27:08 | 説明しても、 |
| 2:27:10 | 示したものが3合計では、 |
| 2:27:13 | 適用する設備となっております。 |
| 2:27:15 | こちらについて次の412ページ。 |
| 2:27:19 | に表でもうちょっと整理をしております。 |
| 2:27:24 | 以上となります。 |
| 2:27:28 | 規制庁のハットリです。はい。これは①番の資料の3ページの4番に対する回答というふうに理解をしています。ここでは1号機エリアと2号機エリアで違う物性値を使うのであれば、 |
| 2:27:42 | そのエビデンスを示してくださいということ、1号機エリアの物性値等の施設に使うのか、2号、3号機エリアの物性値をどのシスに使うのか、ここを明確にしてください。 |
| 2:27:53 | ということで確認をしたところでは、 |
| 2:27:58 | この資料で確認ができましたので、このA4版については了としたいと思います。 |
| 2:28:10 | すいません、規制庁の江崎ですが、昨日やったアクセスルートの斜面とかですね、ここはどうするつもりですか。 |
| 2:28:19 | その辺がすごくされて、入ってこないとわからないんで、そこはちょっとね、今どうしてるんですか。 |
| 2:28:25 | 現実問題、 |
| 2:28:27 | 抑止ぐいだとかあの辺だとか含めて、うん。アクセスルート、 |
| 2:28:32 | 保管場所、保管場所は割とあれでしょうけど、 |
| 2:28:37 | 2号機周りあるから、 |
| 2:28:40 | 基本的には、うん。 |
| 2:28:42 | 2号機の物性かもしれませんが3号機の方にもちょっとありますよね。 |
| 2:28:47 | 特に斜面の通るルートとして、 |
| 2:28:50 | 起こしている。 |
| 2:28:52 | 社名安定とかありますよね。うん。 |
| 2:28:59 | はい、中国電力のユリです。 |
| 2:29:01 | 参考資料の16ですね410通しで411ページをお願いしたいんですけども、 |
| 2:29:10 | こちらで赤色が12号エリア、衛藤3号、青色が3号エリアということで色分けしてお示しておりますけども、先ほど磯田が申しましたように |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:29:21 | 島根の地質については、東西水平で北側に傾斜するような速度構造になっておりますし、地質構造になっておりますので、 |
| 2:29:30 | 東西位置を重視して見てみるとですね。 |
| 2:29:33 | 第3保管エリアがあるところよく渋井周辺につきましては、2号と東西方向としてはほぼ概ね一致しておりますので、 |
| 2:29:42 | 東翼しぐいの速度層についてはこの2号の速度層区分を用いて設計をしてございます。以上です。 |
| 2:30:06 | 規制庁の江崎です。基本的に言うと、5条の耐震評価に当たらないんですけど、 |
| 2:30:13 | いわゆるその技術的能力というところで、アクセスルート、保管場所って、検討することになっているんですけど、ただ |
| 2:30:21 | 等で検討する上で、 |
| 2:30:25 | ドーム部設置、 |
| 2:30:26 | を使っているかっていうのはちょっと明確にしないとわからなくなってしまうし、それを確認していないと、我々も審査として、網羅性がないことになってしまいますので、 |
| 2:30:38 | そこではですね、どこに記載するかは、 |
| 2:30:41 | ご検討いただくとしてですね。 |
| 2:30:43 | 今一度その、 |
| 2:30:45 | いいとか悪いとかではなくて、まずは、 |
| 2:30:49 | 記載していただきたいと思いますがいかがでしょうか。 |
| 2:30:55 | はい。中国電力鹿島です。すいません、私ICC理解いたしました今回今後ですね、アクセス保管場所の入地震動等の説明もさせていただく場面もありますのでそういった観点でも、 |
| 2:31:08 | どういう物を使ったというのは、説明しないといけないと思っておりますので、保管場所アクセスルートの時の条件としてですね、改めてご説明させていただきたいと思います。以上です。 |
| 2:31:20 | 最終的にこのコメントを残すか残さないかという話になるんですけど、 |
| 2:31:25 | 今のお答えは、基本的には、そのアクセスホ、アクセスルート保管場所の方で整理して、基本的にはこの互助に関連する、 |
| 2:31:35 | 地盤申請の中では、整理されないという、 |
| 2:31:40 | ことで理解していいですか。はい。中国電力鹿島です。今おっしゃられたような認識でございますので今後、そちらの保管場所、アクセスの審査の中でですね、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:31:50 | ご説明させていただきたいと思います。ではですね、来多分このコメントに関しては、これで終了なんしますけども、新たに、 |
| 2:31:59 | といったような趣旨、 |
| 2:32:01 | コメント、あちらの方、どうだっけ。 |
| 2:32:05 | アクセスルート保管場所の方に、新たにここからコメントが出てきたということで位置付けにさせていただいて、 |
| 2:32:14 | その資料を追加していただけないでしょうか。はい。中国電力鹿島です。承知いたしました。後程コメントの内容についてはこの場でご確認させていただいた上で、扱いとしては、 |
| 2:32:25 | そちらの方の審査の方のコメントということで整理させていただきたいと思います。 |
| 2:32:31 | 規制庁のハツリですはい。わかりましたちょっと1点だけちょっと念のために確認させてください。今の4番は了となって、新たなコメントを今のこの資料に起こした上で、コメント移動するのか、 |
| 2:32:46 | それとももうその手間を省いて直接アクセスルートの方のコメントに持っていくのか。 |
| 2:32:51 | そこがちょっと今、少し理解できなかったんですけど。 |
| 2:32:56 | どうしますか手続きっていうか手順だけの問題なので、結果的には一緒なんですけど、どうぞ。 |
| 2:33:03 | はい。中国電力のユリです。こちらのコメントで一旦書いてですねコメント移動ということで対応したいと思います。 |
| 2:33:10 | よろしいでしょうか。 |
| 2:33:12 | 規制庁のハツリですはい、わかりました。では次お願いしますどうぞ。すいません比木今のコメントに対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 2:33:24 | 規制庁の三浦です。ちょっと確認なんですけど、412 ページで、 |
| 2:33:31 | 今あれですよね 12 号機の岩級区分で見ると東西方向等、 |
| 2:33:39 | 元マンボ公庫かな。 |
| 2:33:41 | 実際にこれ入力を算定するときっていうのは、 |
| 2:33:47 | この地層岩級区分で、 |
| 2:33:50 | 上の配置だけいじって深く、 |
| 2:33:53 | あれですか、何ていうかな、掘削状況とかそういうのを見ながらそこだけ変えて入力度3点でしたっけ。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:34:01 | 例えば、何を言いたいかというと、学部で見ると、リアクターとかタービンとタービンとか、清が縦これ見ると、この一井で切られててこれの入力度を |
| 2:34:14 | その位置で求めてきて、 |
| 2:34:16 | 各建屋の入力度にしてるんだよなっていうのは思うんですよね。 |
| 2:34:21 | それで、 |
| 2:34:23 | 例えば他の建物っていうのは必ずしもこの位置にないので、 |
| 2:34:28 | 入力動モデルとしてはこのモデルではないんですよねと、そこんところどういうふうになされてるかちょっと、 |
| 2:34:35 | わかんなくなっていました。 |
| 2:34:38 | はい。中国電力ヨシツグでございます。 |
| 2:34:41 | 江藤 2 号の、 |
| 2:34:43 | 関係でちょっとご説明させていただきますと原子炉建物一位の解放基盤面で基準地震動を決めまして、それをL-215 メーターまで引き下げております。 |
| 2:34:54 | それに対して、構造物がある域、 |
| 2:34:58 | 2 のところで、 |
| 2:35:00 | 例えば、2 次元で今と同じような速度層断面を切るか、もしくはそのある程度のところまで 1 次元の、その構造の地盤モデルで引き上げて、 |
| 2:35:11 | SRモデルをする、もしくは二次元のFEMの解析であると、そういった対応をしております。以上です。規制庁の植田です。理解しました。結局だからここで示されている東西断面とか南北断面っていうのは、ある 1 例だと。 |
| 2:35:26 | ということですよねだからもちろん、他の建物の位置にしたがって、こういう岩級区分に従って速度層区分を決めて、今言ったように、215 までおろして、そっから入れてるとということですよね。 |
| 2:35:41 | はい。中国電力のヨシツグでございますミウラさんのご認識の通りでございます。以上です。わかりました。いや、何かこの書類だけ見ちゃうと何か、 |
| 2:35:49 | あれですよ、地下構造モデルで、12 号エリアで全部同じ丸がついてるので、何か勘違いしちゃうかなというふうにちょっと思ったんで。 |
| 2:35:58 | 中身を理解しました。結構です。コメントして残さないで結構です。 |
| 2:36:05 | あ、規制庁のハットリです今話を聞いてると私も少しわかんなくなっただけですけど、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:36:10 | 基準地震動Ssの解放基盤面の設定されてるSsは、2号炉のところで設定されていて、 |
| 2:36:20 | 引き戻し計算は、2号炉の地盤で引き戻して、 |
| 2:36:25 | A3号炉エリアについては3号の地盤で引き上げる。 |
| 2:36:31 | ということなんですか。 |
| 2:36:33 | ちょっとそこら辺が少しわかんなくなってますけど。 |
| 2:36:45 | すいません中国電力のヨシツグ、ちょっとお待ちください。 |
| 2:37:01 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 2:37:05 | 衛藤。 |
| 2:37:06 | 2号炉については2号、3号については3号炉の解放基盤面が決まっておりますので、 |
| 2:37:12 | 3号炉の速度層が、構造が違いますので3号炉の、今回で言いますと防波壁の部分に、例えば例で言えば3号炉の、 |
| 2:37:21 | 速度層理下げたもので、 |
| 2:37:24 | 江藤元一のところにも、 |
| 2:37:27 | ところからまた、 |
| 2:37:29 | 衛藤入力地震動を作っていくというようなことをしております。以上です。 |
| 2:37:34 | 規制庁の八田です。わかりました引き下げ計算もヒアリ計算も、3号炉は3号炉の地盤であって、2号炉12号炉エリアは12号炉エリアの地盤でやるということで理解をしました。 |
| 2:37:52 | すいません規制庁の三浦ですけど。 |
| 2:37:55 | 引き下げをするときってというのは、リアクター一部分の地盤で1回下げてんじゃないですか、215まで。 |
| 2:38:02 | その215まで下げたやつで、今度は当該地盤のやつで上げてくるっていうやり方ですよ。それは、12号炉も3号炉も一緒。 |
| 2:38:14 | ですよ。あくまでもリアクター1で1回おろすんですよ。 |
| 2:38:18 | はい。中国電力のヨシツグでございます。その通りでございます。 |
| 2:38:28 | 規制庁、瀬崎です。設置許可で決めている解放基盤、 |
| 2:38:33 | という定義はどういう使ってるのかというのと、基準地震動との位置付けっていうか、関連性。 |
| 2:38:40 | 関連性としては2号機の下で決まってるんですか。 |
| 2:38:44 | 不勉強で申し訳ないですが、 |
| 2:38:48 | 同号炉でも全部一緒という、 |
| 2:38:51 | 評価でしたっけ。そこをちょっともう一度確認させてください。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:38:58 | はい中部電力の李です。 |
| 2:39:01 | 島根サイトで解放基盤面が確か-10 だったと思いますけど、そちらでは基準地震動Ss設定してるんですけど2号でも3号でも同じ。 |
| 2:39:12 | として、 |
| 2:39:13 | それを説明してます。 |
| 2:39:15 | なんで2号炉エリアの施設については2号原子炉直下で一旦引き戻して、 |
| 2:39:21 | 各施設の直下の地盤で引き上げるということをやっています。3号炉も同じく、そういったことをやっています。以上です。規制庁瀬崎ですよくわかりました。基本的に、 |
| 2:39:30 | まず、基準地震動に関してはサイト共通。 |
| 2:39:34 | その解放基盤面は、各、 |
| 2:39:36 | 号炉の原子炉建屋の |
| 2:39:40 | 直下。 |
| 2:39:41 | が解放基盤面になってて、解放基盤面は、2号機3号機とも一緒でしたっけレベルは、 |
| 2:39:48 | ということですね。わかりました。理解できました。 |
| 2:39:56 | 規制庁のハットリですはい。ただいまの説明に対して何か、何かまた追加で確認することありますか。 |
| 2:40:03 | よろしいですか。はい。では次お願いしますどうぞ。 |
| 2:40:15 | はい。中部電力の伊佐です。続きまして |
| 2:40:23 | 一番の資料で、 |
| 2:40:25 | ナンバー36になります。 |
| 2:40:29 | ページ数が6ページです。 |
| 2:40:32 | という構造解析に用いる物性値岩盤について説明することということで、 |
| 2:40:41 | ございまして当然、2番の資料で言いますと、 |
| 2:40:45 | 20、 |
| 2:40:48 | 91ページお願いします。 |
| 2:41:02 | はい。 |
| 2:41:04 | 91ページになります。産業系エリアにおける岩盤について物性値を設定してるんですけどもその詳細というところで、 |
| 2:41:11 | 先ほど、 |
| 2:41:13 | 参考資料16でご説明させていただきました通り物性値を使いまして、さ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:41:18 | 難波野辺接種を設定しているというところにございます。 |
| 2:41:23 | はい。間瀬さん交渉力の方の説明は少し割愛させていただきます。説明は以上です。 |
| 2:41:41 | これってもそもそもコメント。 |
| 2:41:44 | D36 ですよ。 |
| 2:41:49 | 有効な解析に用いる岩盤の物性値について説明すること。 |
| 2:41:55 | 多分何かあれだったっけ。 |
| 2:41:58 | 液状化しないような物性値に関しては、線形材料はどうやって物性値モデル化するかっていう数字じゃなかったっけ。違いましたっけ。 |
| 2:42:07 | はい。中国電力の首藤でございます。ちょっとこのコメン等の書き我々の整理が悪かったんですが |
| 2:42:15 | 3号炉、 |
| 2:42:16 | の棒廃棄。 |
| 2:42:18 | につきまして、有効力解析を行うときのその岩盤の物理ということについてのコメントをいただいております、そこそこ今回、先ほどご説明しました。 |
| 2:42:29 | 速度層についてのというちょっと有効力解析と書いてありますけれども3号の岩盤の物性についての説明をしたいということで、ご回答させていただきます。ありがとうございます。いわゆる |
| 2:42:42 | 2号炉ず、12号の名前だけじゃなくて3号炉、 |
| 2:42:45 | のところでも傍聴防波壁があるんだけど、その物性値は同様に決めていっているのかとそういった、 |
| 2:42:52 | 話。 |
| 2:42:53 | と、そういうことですね、ちょっと大分時間がたつ1月のコメントでちょっと、 |
| 2:42:59 | その記憶が薄れてしまいましたけどそういうことであれば、基本的には、これで了としたいと思います以上です。 |
| 2:43:11 | 規制庁の服部です。では次お願いしますどうぞ。 |
| 2:43:16 | はい、中国電力の伊佐です。 |
| 2:43:19 | そして一番の資料で46番、 |
| 2:43:22 | 7ページ目お願いいたします。 |
| 2:43:27 | 中ほどになります。 |
| 2:43:29 | 藤埋め戻しについて木山共同試験結果が基準地震動 S_s を相当の地盤状態を模擬したことを勘案した結果について説明すること。 |
| 2:43:38 | というところでは。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:43:40 | 参考資料 18 を作成して参りました。 |
| 2:43:44 | はい。2 番の資料 422 ページお願いいたします。 |
| 2:43:54 | 参考資料 18、基準地震動 S_s に対する液状化強度試験の妥当性確認というところで、1 ポツですけども、 |
| 2:44:05 | 島根現職発電所を受ける埋戻し及び佐伯層につきましては、 |
| 2:44:08 | 液状化強度試験結果より、液状化しないというところを確認いたしました。 |
| 2:44:13 | 今回この液状化強度試験実施箇所埋戻しを対象としましてこの永久化強度試験を実施した強度試験が、基準地震動 S_s 相当の地盤状態を模擬しているかを確認するというところで、 |
| 2:44:27 | こちらにつきましては、設置許可でご説明した内容の、となっております。 |
| 2:44:32 | 累積損傷度理論による等価繰り返し回数で評価をすると。 |
| 2:44:37 | いうところでございます。 |
| 2:44:42 | で |
| 2:44:43 | これにつきましては、 |
| 2:44:45 | イトウ、 |
| 2:44:47 | 衛生基準地震動のうち S_s |
| 2:44:50 | 2、 S_s —F案FⅡというところにつきましてその繰り返し応力繰り返し回数に着目をしまして、 |
| 2:44:56 | 一番水平最大加速度が大きく、継続時間が長い S_s —Dを選定いたしまして、 S_s —DNワンNⅡの括弧N—SNⅡ—(イ)Wの4はで、 |
| 2:45:09 | 評価をいたしました。 |
| 2:45:11 | そして少しページが飛びますが 427 ページになります。 |
| 2:45:16 | 一次元地震応答解析で実施するというところで江藤実施位置につきましては、埋め戻しの層厚が厚いところを、 |
| 2:45:26 | 防波壁の着目いたしまして 3 号西側から 12 号ヒガシまで全域にわたって |
| 2:45:33 | 実施位置を選定いたしました。 |
| 2:45:36 | その各企画チームにおけるモデルというものが、 |
| 2:45:40 | 428 から 431 まで書いております。 |
| 2:45:46 | そしてその |
| 2:45:48 | 評価結果といたしましては 432 ページ。 |
| 2:45:51 | になっておりまして |
| 2:45:56 | ごめんなさい、433 ページが一番わかりやすい図となっております。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:46:02 | 図入りいたしますと、 |
| 2:46:05 | Ss-DNRN II INSEWにつきまして各判明示するような色で示しております。 |
| 2:46:14 | こういったところで |
| 2:46:16 | せん断応力比が 0.4 から 0.7 程度の |
| 2:46:23 | 結果でSが、 |
| 2:46:24 | 評価されると、今回液状化強度試験につきましても、その中に収まっているような、 |
| 2:46:31 | 試験を実施できているというところで基準地震動Ssというのは、基準×試験で模擬できているというふうに判断しております。以上です。 |
| 2:46:42 | 規制庁の服部です。それでは、ただいまの説明に対して確認する点があればお願いしますどうぞ。 |
| 2:46:50 | 規制庁藤川です。ここについては了承としたいと思います許可時の補足説明資料 40 補足説明資料、引用する形でちょっと一部追記もして下さってると思うんですけど、 |
| 2:47:02 | 説明を理解しました。 |
| 2:47:04 | ちょっと3点ほどちょっと記載の適正化をお願いしたい箇所ありまして、 |
| 2:47:08 | まず資料①の回答整理表の7ページの下、コメント回答内容なんですけれども、回答文の2行目読むと、1次元地震応答解析による、 |
| 2:47:21 | を実施して何か、より大地震だっというそこを直しておいてくださいこれがまず1点目。 |
| 2:47:28 | 次2、補足説明資料②の資料の方の426ページ、お願いします。 |
| 2:47:35 | で426ページは、許可時の補足説明資料のなかったページでしてちょっとここを新たに追加いただいた部分だと思うんですけども、ここちょっと2点記載をお願いしたいんですがまず、 |
| 2:47:46 | 衛藤。 |
| 2:47:47 | ワンパラグラフ目の一番最後の行ですね。 |
| 2:47:51 | せん断応力比Lと等価繰返し回数回数なんですか。5日ずっと入れといてください。 |
| 2:47:58 | あとは、この式ですねシキイの、 |
| 2:48:03 | 説明の中で、NFっていう出てくんですけども、イヌイFっていうの、あのやつについてちょっと定義をここでのところに書いておいて欲しいなっていう、 |
| 2:48:15 | 図2-5、見ますと |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:48:18 | 他宇井の液状化強度曲線に対する繰り返し回数をNfと定義しているということは、わかるんですけども、一応念のため書いといてください。 |
| 2:48:28 | 私からは以上です。 |
| 2:48:34 | はい。中国電力の伊佐です。はい。 |
| 2:48:36 | ありがとうございます。申し訳ありません。こちら適正化して、 |
| 2:48:40 | 直していきたいと思います。 |
| 2:48:45 | 市長の服部です。それではちょっと確認ですけど、規制庁内で確認する46番については量にして、ただいまの記載の適正化については、適正カーでの対応ということによろしいですか。 |
| 2:48:58 | はい、ではそのように対応の方お願いしますどうぞ。 |
| 2:49:03 | それでは次お願いしますどうぞ。 |
| 2:49:06 | はい。中国電力の伊佐です。はい。こちらでコメント回答につきましては以上となります。最後に |
| 2:49:16 | 参考資料17の方をご説明させていただきたいと思います。 |
| 2:49:22 | 2番の資料におきまして |
| 2:49:27 | 413ページお願いいたします。 |
| 2:49:37 | はい参考書17、埋戻しの骨格曲線についてという、 |
| 2:49:42 | 資料となっております。 |
| 2:49:45 | もともとはずね島根原子力発電所では |
| 2:49:49 | 税務解析としてTラップ、そして有効解析したFLIPというものを使うことを考えておりました。 |
| 2:49:56 | ATマップにおいては、修正アローモデル、また有効、FLIPにおきましてはHDモデル、そういった設定です。 |
| 2:50:04 | 考えておりましたが、先行の、 |
| 2:50:07 | 審査等かんがみまして |
| 2:50:10 | RELAP1につきましては修正G1モデルを適用する方針に、 |
| 2:50:15 | にいたしました。そういったところをご説明させていただくと、あと、 |
| 2:50:20 | 先般保管アクセスで少しお話があったかと思いますが、 |
| 2:50:24 | 衛藤モリモトこちら埋め戻しの動的変形特性というものを1がII、26日の時点では、 |
| 2:50:34 | 結果をお示ししておりました。その時に江藤泉として10のマイナス2乗オーダーまで、 |
| 2:50:39 | 等の結果をお示ししておりましたが、そう。 |
| 2:50:43 | 他の設備でちょっとそごが消えているというところで、 |
| 2:50:46 | こちらそ、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:50:48 | 今回新しく試験を、設置許可から拡充したというところで追加した値、試験の結果についてもご説明させていただきたいと思います。 |
| 2:50:59 | はい。すいません長くなりました。413 ページ参考章 17 になります。 |
| 2:51:07 | エムスモーションコガ曲線につきまして設置変更許可申請書における大型 3 軸圧縮試験等に基づきまして、ミヨシの動的変形特性を設定しております。 |
| 2:51:17 | 今回、先ほど申し上げた通り有効解析と前の解析の、動的変形特性の設定方法の概要をお示しするというのが一つ。 |
| 2:51:25 | 大ひずみ領域におけるデータ取得を実施しましたので藺田。 |
| 2:51:29 | それを踏まえまして、今回我々が設定している、動的変形特性の妥当性を確認するというところでございます。 |
| 2:51:36 | 1 ポツとなりまして有効解析ではFLIPを用いまして、今までご説明させていただきました通り、一次モデルというのを適用していこうと。 |
| 2:51:47 | いきます。 |
| 2:51:48 | 414 ページにあります。 |
| 2:51:51 | HDモデルによる動的変形特性の設定というところでこういった、 |
| 2:51:56 | をお示しをさせていただいております。 |
| 2:52:00 | 415 ページにつきましては 1 ポツに全国解析。 |
| 2:52:05 | というところで |
| 2:52:08 | 1Dと比較フィッティングができる修正GH、こちらを採用いたしました。 |
| 2:52:14 | こちらを用いまして衛藤。 |
| 2:52:18 | このGTGの適用性といったところを、115。 |
| 2:52:22 | また、416 ページに |
| 2:52:25 | その次、11 の妥当性そういったところをご説明させていただいております。 |
| 2:52:30 | そしてそのGHGで修正自治設定した結果というところが 417 ページになりまして、 |
| 2:52:39 | 試験結果等フィッティングできているというところが、確認できます。 |
| 2:52:43 | そして、418 ページになりますが、 |
| 2:52:48 | がお示ししている結果というところが、図の 2-1 を見ていただきますと、 |
| 2:52:53 | 2.4 掛け 173 乗だというところでそれを超えるひずみ領域っていうのが、られていないというのが設置許可の時点の試験結果でございました。 |
| 2:53:02 | 今回 |
| 2:53:04 | 振替 30 個追加実施したというところで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:53:07 | ございます。 |
| 2:53:09 | 表 2-1 に示します通り、 |
| 2:53:13 | 振替 3 軸試験を実施いたしましたしてその再周知というところは、419 ページの図でお示しをしております。 |
| 2:53:21 | そして追加実施した結果というところで、次の 420 ページを見ていただきますと、 |
| 2:53:30 | 上がHDモデル、下が修正G1 モデルの試験結果となっております。 |
| 2:53:35 | 黒丸が今回新しく追加実施したもの、また資料、丸が黒丸、黒三角が、今回追加実施したもの。 |
| 2:53:46 | また資料マルシ予算額が、数どうぞお示していたものとなっております。 |
| 2:53:51 | 今回新しく実施したものにつきましては |
| 2:53:56 | 中のマイナス 2 乗玉でひずみが取れておりまして、またこれらにつきましても、 |
| 2:54:02 | HD修正GHPともに |
| 2:54:05 | 整合してる結果がえられております。 |
| 2:54:07 | また |
| 2:54:10 | 421 ページに、その 3 軸試験、繰り返し 3 軸試験後の商品も御載せておりまして、 |
| 2:54:17 | 破壊してないというところも確認をしております。 |
| 2:54:21 | こちらをもって当面戻しの動的変形特性というものを設定していきたいと考えております。以上です。 |
| 2:54:29 | 規制庁の服部です。それでは参考資料 17 について確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 2:54:41 | 規制庁の三浦です。 |
| 2:54:44 | これ設計で使っている最大せん断ひずみってどのぐらいなんでしょうか。 |
| 2:54:57 | 藤。はい。中部電力の伊佐です。 |
| 2:55:00 | あと詳細につきましてはまた、 |
| 2:55:04 | 各構造物の耐震評価の中でご説明させていただきたいと思いますが、 |
| 2:55:09 | 一体大きいものでもマイナス 2 乗とか、そういったところに入ってるのかなと思ってすみませんちょっとすべてがすべてちょっと見切れているわけではないので、 |
| 2:55:17 | ちょっと |
| 2:55:19 | 来年できましたそういったオーダー。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:55:22 | に至っている。 |
| 2:55:24 | 野間あるという状況です。 |
| 2:55:27 | 基本的には試験結果の中におさめられるんだけどそれを逸脱する部分も今後あるかもしれないってこと。 |
| 2:55:37 | はい。はい。中国電力の伊佐です。そうですね |
| 2:55:41 | こちらにつきましても |
| 2:55:43 | 改良地盤の方でもご指摘いただきましたが、その 39 市振替 3 軸試験で確認できてる範囲を逸脱してるものがあるかどうかということを確認、ご説明していきたいと思っております。 |
| 2:55:55 | 一方でちょっとそれ以上のオーダーに行きますと、自賠事例でいきますと |
| 2:56:00 | 非常に小さな値になってきているというところでそこまで、 |
| 2:56:07 | 試験結果を逸脱したとしても、大きな影響があるものではないのかなとは考えております。以上です。 |
| 2:56:15 | 規制庁の三浦です。特にコメントってことはないんですけども、 |
| 2:56:19 | 試験結果を大きく逸脱するようなことはないというふうに理解をしておきました。 |
| 2:56:25 | はい。私から以上です。 |
| 2:56:32 | 規制庁の江崎です。多分こういうすぐさに答えて欲しかったんだけど、多分ですねそうですね大ひずみ料金だったら、多分ひずみのレベルからすると、 |
| 2:56:43 | 液状化しませんか。 |
| 2:56:45 | ということなんです、いかがですか。であればあまりうん。 |
| 2:56:50 | その 5 設定、基本的には液状化した後なんで、 |
| 2:56:55 | 液状化後の合成で 5 号線持ってないんですよ計算上きつと FLIP なかって、 |
| 2:57:03 | 違う、今私が言ってることは何か、 |
| 2:57:05 | 違いありますか。 |
| 2:57:07 | はい。中国電力のヨシツグでございます。今井坂さんがおっしゃられた通り、 |
| 2:57:12 | 地下水かのところにして、液状化で今おっしゃられた等々も合成はないと思ってます。で、 |
| 2:57:18 | 地表面のごく局所的なところには上載圧があまりないようなところで、ちょっとどういった挙動するかなんですけれども、基本的には構造物周りにそういったところがあるようなものは少ないと思っておりますので、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:57:31 | その解析モデルのどっか局所的だとかそういうのはあるかもしれないんですけども、 |
| 2:57:36 | ほとんどは今、イソダ申しました通りの範囲内に収まるんじゃないかと思っております。以上です。 |
| 2:57:46 | 多分地下水があるで設定されて地下水より上ってというのは地下水以下がほとんど名詞そうなるんで、あまり大きな、 |
| 2:57:55 | 影響はないということをちょっと、ちゃんと。 |
| 2:57:58 | 家の設計計算結果をもってですねちょっと説明。 |
| 2:58:02 | して、補足していただければ、この辺は理解が進むのかなと思っておりますがいかがでしょうか。 |
| 2:58:08 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 2:58:11 | 衛藤埋戻層がある程度厚さがあって地下水の上とか下とかそういったコア解析構造物ちょっと代表的なものを選びまして、 |
| 2:58:19 | 具体的な数値をもってご説明したいと思っております。以上です。 |
| 2:58:23 | 日と長いんですけど、基本的には1%とか2%の |
| 2:58:28 | ひずみの状態になると、基本的に言うと、大体液状化してもおかしくないっていう話がありますので、その辺をちょっとちゃんと、何か裏付けられるような設計上、 |
| 2:58:39 | 何ら多分問題ないっていうか、いう話だと思うんですけどそれは、実証して、さっき言ったように実装していただければ結構ですので、よろしくお願いたします。 |
| 2:58:49 | はい。中国電力ヨシツグです。了解いたしました。 |
| 2:58:54 | 規制庁の服部です。それでは引き続き新規に説明する箇所があればお願いたします。どうぞ。 |
| 2:59:04 | はい。中部の磯です。こちらで説明は以上となります。 |
| 2:59:10 | 規制庁の八田ですわかりました。それではこの資料全体に対して規制庁側から確認する点がある方、おられればお願いたしますどうぞ。 |
| 2:59:23 | うん。 |
| 2:59:24 | 先ほど、もう一番最初にあった話で274ページで、 |
| 2:59:29 | 4.3.1の現位置試験結果試験及び室内試験のこの表の3-1-1。 |
| 2:59:39 | 目標値とか設計値の |
| 2:59:43 | 設定根拠なんですけど、基本的に、 |
| 2:59:48 | 設定のその根拠として、できるだけ書いていただきたいのは、 |
| 2:59:53 | 安全設計上の安全側の観点で、これ、も、 |
| 2:59:59 | こうしてますと。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 3:00:01 | というようなこと多分書けるんだと思うんですね。 |
| 3:00:04 | そういうことがちょっと言葉で事例として明確にしていきたいんですが、よろしいでしょうか。 |
| 3:00:09 | いわゆるだから、小さく、ごそっと小さくした方が安全側だとかそういう話があると思うんですけど。 |
| 3:00:21 | はい中国電力のユリです。えーっとですね、目標物性値の設定のところにも書けるところを書きたいと思うんですけども、目標物性値を布施 |
| 3:00:31 | 踏まえまして、試験をやっていますね、最後解析用物性値を設定するところが、例えばこの資料でいうと 288 ページのところにあります、 |
| 3:00:45 | こちらにですね前段細かいとこ書かせていただいている試験との比較をもって保守的に解析用物性値を設定してますっていうところを表の中に、 |
| 3:00:55 | 記載させていただいております、 |
| 3:00:59 | こちらの内容も踏まえまして目標物性値にもちょっと書ける内容は書きたいと思っております。以上です。 |
| 3:01:08 | 基本的目標設定なんですけど目標設定も安全側になってるっていうことが前提でないといけないんで、目標をこういったことで安全側なんだけど、目標そもそもその目標設定が安全会社だったんです。 |
| 3:01:19 | とか、妥当でないといけないですね多分基本的に安全側っていう概念が多分、 |
| 3:01:27 | 他のやつもそうですけど試験結果。 |
| 3:01:29 | よりも、 |
| 3:01:30 | ある程度、 |
| 3:01:32 | 小さくなるといった、 |
| 3:01:34 | 安全側の方にシフトするっていう前提で補強設定して思うので、そういった設定がないね。 |
| 3:01:42 | 前段で書いても結構ですしその辺がわかるようにしていただければと思います。 |
| 3:01:49 | はい。中国電力の李です。ご趣旨理解いたしました目標物性値の設定においても、保守的な設定になっている旨を追記したいと思います。以上です。 |
| 3:02:04 | 規制庁の服部です。他に、資料全体を通して確認する点がある方お願いします。 |
| 3:02:12 | よろしいでしょうか。 |
| 3:02:15 | はい。 |
| 3:02:17 | 中国電力側から何か追加で説明することありますかどうかどうぞ。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 3:02:24 | 中国電力鹿島です。こちらは特にございません。 |
| 3:02:29 | 規制庁の服部です。 |
| 3:02:30 | 中国電力本社側から説明することがあればお願いしますどうぞ。 |
| 3:02:37 | 中国電力本社ナイトウです。こちらも特にございません。以上です。規制庁の服部です。はい、わかりました。それでは一通り確認が終わりましたので |
| 3:02:48 | 失礼しましたでは、お願いしますどうぞ。 |
| 3:02:55 | もしかしたら、勘違いかもしれないんですけど、34 ページの改良地盤の |
| 3:03:02 | 改良地盤もあるように、 |
| 3:03:05 | これって、今現在、 |
| 3:03:07 | もう、 |
| 3:03:08 | 説明内容と一致してますか、ちょっと。 |
| 3:03:14 | あと、浪江。 |
| 3:03:16 | タカイシ 16 擁壁とか、これ。 |
| 3:03:19 | 整合してます。ちょっと声が、 |
| 3:03:23 | はい、事務部伊佐です。はい。申しわけこちらにつきましては今回ご説明させていただきました。逆T1 から 3 と解除⑤についてちょっと記載のほう確認させていただきました。ちょっと 46 は |
| 3:03:38 | 次回以降のヒアリングでご説明させていただくというところでちょっとここはまだ、すいません、全館記載が残った状態です。説明が不足しておりました。これですね、当初、カツキですね、品質保証していただかないと、 |
| 3:03:52 | 多分今のうちこれブラッシュアップしていかないと、 |
| 3:03:55 | 後々、 |
| 3:03:56 | たくさん資料出てくるので多分 7 月以降、ちょっと多分、 |
| 3:04:01 | ヒアリングの回数もそんなにたくさんやれないと思うんで、今うち社内挙げてですねちょっとこの辺は、 |
| 3:04:08 | 不備があると。 |
| 3:04:09 | 最後に、 |
| 3:04:10 | 再々補正とか再生またさらなる補正だとか、たくさん |
| 3:04:16 | 最終に出てくる形になるので、 |
| 3:04:19 | 多分、これに連動して多分下手すると他のところ、 |
| 3:04:22 | と設計さんと、 |
| 3:04:25 | 日 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 3:04:27 | とか、これ補足説明書ですよね工認図書との関係性も同じものが出てくると、添付資料ですか、にも入ってくると思うんでいろんなところに、 |
| 3:04:35 | 波及していっちゃうんで、 |
| 3:04:37 | できるだけ補足説明資料の段階で完全固めて、それを、 |
| 3:04:42 | 添付資料でその他の、 |
| 3:04:44 | 共同計算とか耐震、これ耐震計算書ですかとか地震法と計算書を関係するんであれば、 |
| 3:04:52 | 含めてですね、展開していただきたいと思います。 |
| 3:05:00 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 3:05:03 | 確実に対応してですね、それ以降、出していく計算書等にそごがないようにさせていただきたいと思います。以上です。あとちょっともう1点ですね気づき事項で20ページで見たときに、 |
| 3:05:14 | これ事実、気づき事項とか事実確認なんですけど、この兵庫3-2-1の改良地盤という軸見て、取水槽、 |
| 3:05:24 | うん、て、 |
| 3:05:25 | これって0になりません改良地盤使ってますよね。 |
| 3:05:30 | 違うんでしたっけ。 |
| 3:05:31 | はい。 |
| 3:05:32 | 中国電力の伊佐です。はい。はい。 |
| 3:05:35 | ご指摘の通りでございますちょっとこちらはですねす等常設ご説明したタイミングでまだ取水槽の改良地盤、 |
| 3:05:41 | が |
| 3:05:43 | なかったというところでちょっとそこは行ってなかったと。 |
| 3:05:46 | ちょっと今回資料、水槽の鹿島の改めて説明させていただきましたので、ちょっとこういったところ先ほどの件も含めまして、 |
| 3:05:54 | 全体的にそごがないようなちょっと資料を修正させていただきます。失礼しました。特にですね途中でか、いろいろ審査の段階で変わっていったものは、 |
| 3:06:05 | 特に気をつけていただきたいなと思っていて、ISOの基本をいうのを、本意ではないんですけど、 |
| 3:06:13 | 何かを変えるときには、 |
| 3:06:15 | 何と何に波及的、阿蘇波及するののかということ、 |
| 3:06:21 | 上長も含めてですね、ちゃんと会議でディスカッションした上で、それを資料化して、 |
| 3:06:28 | 細かいこと言うと、それを実行してるかどうか。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 3:06:31 | ていうのを確認していく形だったと思うんですね。御社のISOも以前見させていただきましたけど、しっかりと線は、品質確認はしていただきたいと思います。以上です。 |
| 3:06:43 | はい。中国電力のヨシツグでございますこの場所、この箇所以外、それらも含めて、はい。確実に対応させていただきます。はい。ありがとうございました。 |
| 3:06:58 | 規制庁の服部です。他に、全体を通して確認する点があれば、よろしいですかね。 |
| 3:07:05 | はい。 |
| 3:07:05 | では一通り確認が終わりましたので本日のヒアリングは終了したいと思います。どうもありがとうございました。 |
| 3:07:13 | ありがとうございました |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。